マルチプレーヤー

XDJ-1000

http://pioneerdj.com/support/

上記のPioneer DJサポートサイトでは、困ったときのよくある質問やソフトウェアの情報など、より快適に製品をお使いいただくための各種情報やサービスを提供しております。

http://rekordbox.com/

rekordbox™の各種情報やサービスについては、上記のオンラインサポートをご覧ください。

http://kuvo.com/

取扱説明書

もくじ

本書の見かた

- このたびは、パイオニア製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
  この冊子と「取扱説明書（クイックスタートガイド）」は、どちらも必ずお読みください。両方とも、この製品の使用前にご理解いただくべき重要事項が含まれています。
  特に「安全上のご注意」は必ずお読みください。なお、「取扱説明書（クイックスタートガイド）」は「保証書」と一緒に必ず保管してください。
- 本書では、コンピューター画面に表示される画面名、タッチキー、メニュー名、および製品本体ボタン名および端子名などを、[ ] で囲んで記載しています。
  記載例：
  — [**SLIP**] をタッチする
  — [**CUE**] ボタンを押す
  — [**UTILITY**] 画面が表示されます。
  — Windows の [**スタート**] メニューから、[**すべてのプログラム**] > [Pioneer] > [rekordbox 3.x.x] > [rekordbox 3.x.x] をクリックする
  — LAN ケーブルを [**LINK**] 端子に正しく接続してください。

はじめに

本機の特長

本機は、クラブプレーヤーの世界標準であるパイオニア CDJ シリーズの技術を継承した DJ プレーヤーです。USB デバイスやコンピューターだけでなく、モバイルデバイス (スマートフォンなど) の楽曲を使って本格的な DJ プレイをすることができます。PRO DJ LINK、QUANTIZE、BEAT SYNC など DJ パフォーマンスのための多彩な機能を備えるだけでなく、高音質、高信頼性設計および操作性の高いパネルレイアウトを採用することにより、すべての DJ のパフォーマンスを強力にサポートします。

MULTI MEDIA, MULTI FORMAT

USB デバイス (フラッシュメモリーまたはハードディスク)、モバイルデバイス内に記録されている音楽ファイルを再生できます。音楽ファイルのフォーマットは、MP3、AAC、WAV、AIFF に対応しています。音楽管理ソフトウェア rekordbox (Mac/Windows) を使って、DJ プレイに必要なプレイリスト、キュー、ループおよびビートグリッドなどを自宅でじっくり準備できます。当日はディスコ / クラブでの DJ プレイに安心して専念できます。音楽ファイルの入手から DJ プレイまで、各ステップをスムーズに連携させた DJ サイクルを実現します。

rekordbox (Mac/Windows)

rekordbox は、rekordbox に対応したパイオニア製 DJ プレーヤーをお買い上げいただいたお客様が、DJ プレイに使う音楽ファイルを管理するためのソフトウェアです。
音楽管理ソフトウェア rekordbox を使って、コンピューター内の音楽ファイルをさまざまな方法で管理 (解析、設定、作成、履歴保存) できます。rekordbox で管理された音楽ファイルを本機と組み合わせて使うことによって、優れた DJ パフォーマンスを実現できます。

- 本書では、Mac/Windows 版 rekordbox を rekordbox (Mac/Windows) と表記しています。また、rekordbox (Mac/Windows) および rekordbox (iOS/Android) を同時に表現する場合や、rekordbox 機能そのものを表現する場合に rekordbox と表記しています。

rekordbox (iOS/Android)

無償でダウンロードできるスマートフォンアプリ rekordbox (iOS/Android) を使って、モバイルデバイス内の音楽ファイルを管理 (解析、設定、作成、履歴保存) できます。rekordbox (iOS/Android) で管理された音楽ファイルを本機と組み合わせて使うことによって、優れた DJ パフォーマンスを実現できます。

- 本書では、モバイルデバイス版 rekordbox を rekordbox (iOS/Android) と表記しています。

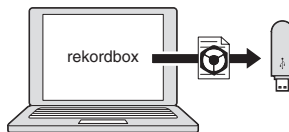
PRO DJ LINK

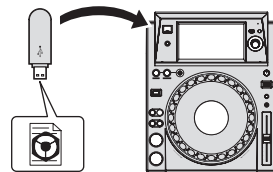
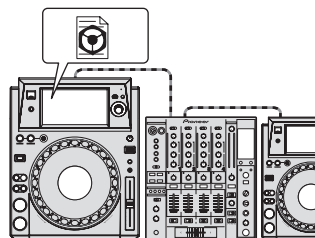
USB デバイス (フラッシュメモリーまたはハードディスク) を使った「USB Export」と、rekordbox がインストールされているコンピューターを使った「rekordbox LINK Export」があります。

❖ USB Export

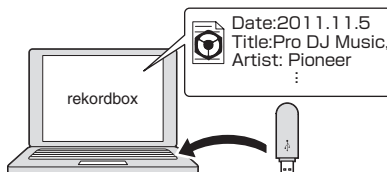
USB デバイスを使って rekordbox の音楽ファイルや管理データを受け渡しできます。ディスコやクラブにコンピューターを持ち込む必要がありません。

自宅・スタジオ

- 音楽ファイルをコレクションに追加・解析する。
- rekordbox で準備する。

rekordbox のデータを USB デバイスに書き出す。

ディスコ・クラブ

USB デバイスを DJ プレーヤーにセットする。

- rekordbox のデータを使って演奏する。
- PRO DJ LINK を使って rekordbox のデータを共有する。

演奏履歴が USB デバイスに保存される。

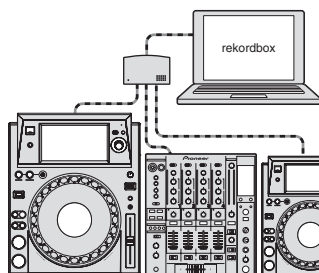
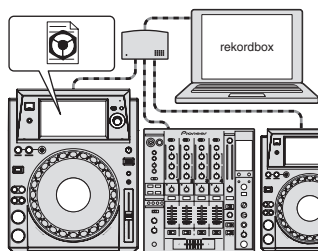
自宅・スタジオ

演奏履歴を rekordbox で確認・管理する。

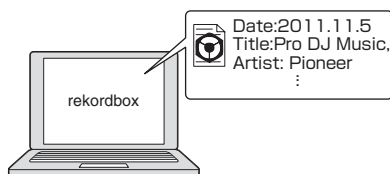
❖ rekordbox LINK Export

本機とコンピューターをLANケーブルを使って接続すると、rekordboxの音楽ファイルや管理データを直接受け渡しできます。USBデバイスにデータをエキスポートする手間を省けます。無線LANルーター(または無線LANアクセスポイント)を使って無線で接続することもできます。

自宅・スタジオ

- 音楽ファイルをコレクションに追加・解析する。
- rekordboxで準備する。

ディスコ・クラブ

コンピューターとDJプレーヤーを接続する。

- rekordboxのデータを使って演奏する。
- PRO DJ LINKを使ってrekordboxのデータを共有する。

自宅・スタジオ

演奏履歴をrekordboxで確認・管理する。

TOUCH DISPLAY

本機はDJプレイ時に必要な情報を分かりやすく表示する、高精細大型フルカラータッチディスプレイを搭載しています。DJプレイ時に必要な情報を分かりやすく表示するだけでなく、AUTO BEAT LOOPやHOT CUE、BEAT JUMP/LOOP MOVEなどの多彩な機能を備えることにより、確実かつアグレッシブなDJパフォーマンスを実現します。

❖ BROWSE

音楽ファイルのリスト表示と、簡単に操作できるロータリーセレクターの組み合わせにより、ストレスなく選曲できます。また、楽曲のアートワーク表示により、目的の楽曲を直感的に探し出すことができます。

❖ KEYWORD SEARCH

タッチディスプレイ内にキーボードを表示し、タイピングによるキーワード検索を可能にしました。目的の音楽ファイルを確実に素早く検索できます。

❖ WAVE/WAVE ZOOM

全体波形(WAVE)を表示することにより楽曲全体の構成を視覚的に把握できます。また帯域別に色分けして、拡大/縮小可能な拡大波形(WAVE ZOOM)を表示することにより、瞬時に楽曲展開を把握できます。

❖ NEEDLE SEARCH

全体波形(WAVE)を指でタッチすると、タッチした付近の音を瞬時に再生できます。直感的な操作による素早いポイントサーチを実現します。

❖ BEAT JUMP/LOOP MOVE

指定した拍数で瞬時に再生位置を移動させることができます。楽曲のリズムを崩すことなく、多彩なビートアレンジを即興で行えます。

❖ HOT CUE

事前に設定しておいたキューポイントから瞬時に再生できるホットキューを備えています。

❖ AUTO BEAT LOOP

曲のテンポをもとに自動的にループを設定するオートビートループを備えています。

BEAT SYNC

rekordboxで解析された楽曲のGRID情報をもとに、本機で再生する楽曲のテンポ(BPM)と拍位置をPRO DJ LINK接続されている他のDJプレーヤーに自動的に合わせることができます。ビートシンク機能によってミックスをアシストすることで、ミキシングやエフェクトなどのパフォーマンスが可能になり、DJプレイの幅が大きく広がります。

QUANTIZE

rekordboxで解析された楽曲なら、ループ/リバース/スリップループなどを使うときに、操作タイミングがビートとずれた場合でも自動で補正するQUANTIZE 機能を搭載しています。再生中の楽曲のリズムを崩すことなく確実なパフォーマンスを行えます。

SLIP MODE

ループ/リバース/スクラッチ/ポーズ/ホットキュー/ビートジャンプ/ループムーブ中にバックグラウンドで楽曲を再生し続けるスリップモード機能を搭載しています。これにより、ループ/リバース/スクラッチ/ポーズ/ホットキュー/ビートジャンプ/ループムーブ後でも原曲の展開を変えることなくDJパフォーマンスを続けることができます。

KUVO

KUVOは「ダンスミュージックを楽しむ次世代空間を創造する」をコンセプトに、クラバー・DJ・クラブがつながりクラブ内外問わずより多くの人々がクラブカルチャーを今まで以上に楽しむためのサービスです。
サービスの内容についてはこちらをご覧ください。
http://kuvo.com/

準備する

対応ソースについて

本機は以下のソースに対応しています。
- USB デバイス
- コンピューター (17 ページ)

使用できるメディア

本機は、外付けハードディスク、携帯フラッシュメモリー、およびデジタルオーディオプレーヤーなどの USB マスストレージクラスの USB デバイスに対応しています。

フォルダー階層	最大 8 階層 (8 階層を超えるフォルダーに含まれているファイルは再生できません)。
最大フォルダー数	無制限 (1 つのフォルダー内に 10 000 を超えるフォルダーは表示できません)。
最大ファイル数	無制限 (1 つのフォルダー内に 10 000 を超えるファイルは表示できません)。
対応ファイルシステム	FAT16、FAT32、HFS+ (NTFS には対応していません)

- rekordbox (iOS/Android) がインストールされているモバイルデバイスを USB 経由で接続することにより、rekordbox の管理している楽曲を再生できます。対応機器については Pioneer DJ サポートサイト (http://pioneerdj.com/support/) でご確認ください。rekordbox (iOS/Android) については rekordbox (iOS/Android) のユーザーマニュアルをご覧ください。
- フォルダーやファイルの数が多いときは、読み込みに時間がかかることがあります。
- 制限を超えるフォルダー、ファイルは表示できません。

使用できない USB デバイス

- 外付け DVD/CD ドライブなどの光ディスク系デバイスは使えません。
- USB ハブは使えません。
- iPod は使えません。(iPod touch、iPhone 内の音楽データは rekordbox (iOS/Android) のライブラリに加えない限り、本機で再生できません。)

➲「本製品に接続できる iPod/iPhone」(p.8)

USB デバイスをお使いいただくときのご注意

- USBデバイスによっては正常に動作しないことがあります。本機との接続により、USB デバイスにお客様が記録されたデータが損失、またはその他の直接・間接の障害が発生した場合でも、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本機の USB デバイス挿入口に許容量以上の電流が流れると USB インジケーターが点滅し、USB デバイスへの電源供給を停止して通信を止めることがあります。正常な状態に戻すためには、本機に接続された USB デバイスを取り外してください。過電流が検出された USB デバイスの再使用は避けてください。以上の方法で正常な状態に戻らない (通信しない) ときは、いったん本機の電源をオフしてから再度電源をオンしてください。
- USBデバイスに複数のパーティションの設定をしているときは、最初のパーティションだけ使えます。(rekordbox のライブラリ情報がある場合は、rekordbox のライブラリ情報の格納されているパーティションが優先されます。)
- フラッシュカードリーダー搭載の USB デバイスは、正常に動作しないことがあります。
- お使いの USB デバイスによっては、期待したパフォーマンスが得られないことがあります。

再生できる音楽ファイルフォーマット

本機は以下のフォーマットに従った音楽ファイルに対応しています。

種類	ファイル拡張子	対応フォーマット	ビット処理	ビットレート	サンプリング周波数	エンコード方式
MP3	.mp3	MPEG-1 AUDIO LAYER-3	16 bit	32 kbps 〜 320 kbps	32 kHz, 44.1 kHz, 48 kHz	CBR, VBR
		MPEG-2 AUDIO LAYER-3	16 bit	8 kbps 〜 160 kbps	16 kHz, 22.05 kHz, 24 kHz	CBR, VBR
AAC	.m4a, .aac, .mp4	MPEG-4 AAC LC	16 bit	16 kbps 〜 320 kbps	16 kHz, 22.05 kHz, 24 kHz, 32 kHz, 44.1 kHz, 48 kHz	CBR, VBR
		MPEG-2 AAC LC	16 bit	16 kbps 〜 320 kbps	16 kHz, 22.05 kHz, 24 kHz, 32 kHz, 44.1 kHz, 48 kHz	CBR, VBR
WAV	.wav	WAV	16 bit, 24 bit	–	44.1 kHz, 48 kHz	非圧縮 PCM
AIFF	.aif, .aiff	AIFF	16 bit, 24 bit	–	44.1 kHz, 48 kHz	非圧縮 PCM

MP3 ファイルについて

MP3 ファイルには、固定ビットレート (CBR:Constant Bit Rate) と可変ビットレート (VBR:Variable Bit Rate) があります。本機ではどちらのファイルでも再生できますが、VBR は CBR に比べサーチやスーパー・ファースト・サーチの速度が遅くなります。操作性を優先するときは CBR で記録することをお勧めします。

AAC ファイルについて

- AAC とは、「Advanced Audio Coding」の略で、MPEG-2、MPEG-4 で使われる音声圧縮技術に関する基本フォーマットです。
- AAC データは、データ作成に使ったアプリケーションによってファイル形式と拡張子が異なります。
- 本機では、iTunes® によってエンコードされた、拡張子が「.m4a」の AAC ファイルのほか、「.aac」、「.mp4」を再生できます。ただし、iTunes STORE 等で購入された著作権が保護されている AAC ファイルは再生できません。またエンコードする iTunes のバージョンによっては再生できないことがあります。

ID3 タグについて

音楽ファイルから読み込めるタグ情報は、ID3 タグ (v1、v1.1、v2.2.0、v2.3.0、v2.4.0) またはメタタグです。

音楽ファイルのアートワークについて

音楽ファイルに追加できるアートワーク画像のファイル形式は、JPEG です (拡張子 : “jpg”、“jpeg”)。
- 800 x 800 ドットより大きいファイルは表示できません。

文字表示について

❖ MP3/AAC

トラック名などを表示する際、Unicode 以外のローカルコードで書かれている文字を表示したいときは、[**LANGUAGE**] 設定を変更してください。
➲「言語を変更する」(p.30)

ソフトウェアを準備する

音楽管理ソフトウェア rekordbox、ドライバーソフトウェアは付属されていません。
rekordbox、ドライバーソフトウェアを利用するには、rekordbox サイトおよび Pioneer DJ サポートサイトにアクセスして、ソフトウェアをダウンロードしてください。
- インターネットの接続に必要なコンピューター、ネットワーク機器、その他のインターネット利用環境はお客様でご用意ください。

rekordbox について

rekordbox は、rekordbox に対応したパイオニア製 DJ プレーヤーをお買い上げいただいたお客様が、DJ プレイに使う音楽ファイルを管理するためのソフトウェアです。
音楽管理ソフトウェア rekordbox を使って、音楽ファイルをさまざまな方法で管理 (解析、設定、作成、履歴保存) できます。rekordbox で管理された音楽ファイルを本機と組み合わせて使うことによって、優れた DJ パフォーマンスを実現できます。

❖ rekordbox (Mac/Windows) を入手する

1 コンピューターでウェブブラウザーを起動し、rekordbox サイトにアクセスする

http://www.rekordbox.com

2 rekordbox サイトで [Download] をクリックし、ダウンロードページから rekordbox をダウンロードする

- rekordbox (Mac/Windows) の各種情報やサービスについては、上記のサポートサイトをご覧ください。

❖ rekordbox (iOS/Android) について

rekordbox (iOS/Android) がインストールされているモバイルデバイスを USB 経由で接続することにより、rekordbox の管理している楽曲を再生できます。対応機器については Pioneer DJ サポートサイト (http://pioneerdj.com/support/) でご確認ください。rekordbox (iOS/Android) については rekordbox (iOS/Android) のユーザーマニュアルをご覧ください。
- rekordbox (iOS/Android) のインストールについては、弊社ウェブサイト (http://www.rekordbox.com) をご覧ください。

著作権についてのご注意

rekordbox では、著作権保護の対象となる音楽コンテンツの再生や複製が制限されています。
- 音楽コンテンツに著作権保護のための暗号データなどが埋め込まれているときは、プログラムが正しく動作できないことがあります。
- 音楽コンテンツに著作権保護のための暗号データなどが埋め込まれていることを検知したときは、再生や読み込みなどの処理を中止することがあります。

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- CD などから録音される音楽は、各国の著作権法ならびに国際条約で保護されています。また、録音した者自身が、それを合法的に使用するうえでのすべての責任を負います。
- インターネットなどからダウンロードされる音楽を取り扱う際は、ダウンロードした者自身が、ダウンロードサイトとの契約に則ってそれを使用するうえでのすべての責任を負います。

オンラインサポートのご利用について

rekordbox の操作方法や技術的な質問をお問い合わせいただく前に、rekordbox (Mac/Windows) の操作説明書およびオンラインマニュアルをお読みいただくとともに rekordbox のオンラインサポートに掲載されておりますFAQ をご確認ください。

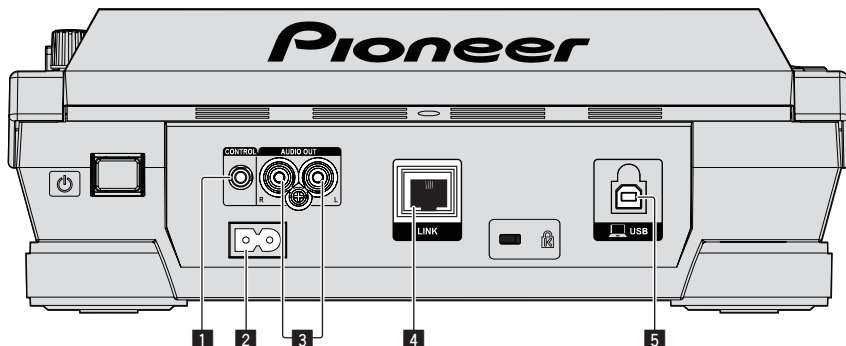
<rekordbox のオンラインサポート>

http://www.rekordbox.com

接続する

- 機器の接続を行う場合、あるいは変更を行う場合には、必ず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。
- 接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- 電源コードは、機器の接続がすべて終わってから接続してください。

- LAN ケーブルを使って接続を行う際は、必ず本製品に付属の LAN ケーブルまたは STP (シールドケーブル) をお使いください。
- PRO DJ LINK を使って音楽ファイルまたは情報を共有しているときは、LAN ケーブルを取り外さないでください。

各端子の説明

1 CONTROL 端子
リレー再生用にコントロール信号を送るため、DJ プレーヤーと DJ プレーヤーをモノラルミニフォーンプラグ (Ø 3.5 mm) のケーブル (市販) でつなぐ際に使います。
➲ 「リレー再生のための接続をする」(p.10)

2 AC IN
コンセントと接続します。
電源コードは、機器の接続がすべて終わってから接続してください。
必ず付属の電源コードをお使いください。

3 AUDIO OUT L/R 端子
音声ケーブル (付属) を接続します。

4 LINK 端子
LAN ケーブル (付属) を接続します。

5 USB 端子
コンピューターと接続します。

注意
製品の仕様により、本体部やリモコン (付属の場合) のスイッチを操作することで表示部がすべて消えた状態となり、電源プラグをコンセントから抜いた状態と変わらなく見える場合がありますが、電源の供給は停止していません。製品を電源から完全に遮断するためには、電源プラグ (遮断装置) をコンセントから抜く必要があります。製品はコンセントの近くで、電源プラグ (遮断装置) に簡単に手が届くように設置し、旅行などで長期間ご使用にならないときは電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

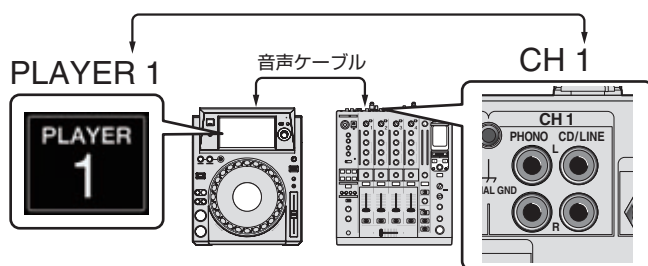
基本スタイル

本機のプレイには、コンピューターにインストールされた rekordbox で準備されたトラックを主に使用します。

- rekordbox の操作については、rekordbox (Mac/Windows) のユーザーマニュアルをご覧ください。rekordbox (Mac/Windows) のユーザーマニュアルは、rekordbox (Mac/Windows) の [ヘルプ] メニューからご覧いただけます。
- また、DJ プレーヤーと DJ ミキサーは PRO DJ LINK 接続を行い、LAN ケーブル（CAT5e）を使って、PRO DJ LINK 対応のプレーヤーを最大 4 台まで接続できます。
- 組み合わせる機種によっては、スイッチングハブ (市販) が必要です。100 Mbps 以上のスイッチングハブをお使いください。スイッチングハブによっては正常に動作しないことがあります。
- LAN ポートが 1 つしかないミキサーと接続する場合は、スイッチングハブ (市販) が必要です。LAN ポートがシステム内の DJ プレーヤーおよびコンピューターの台数分あるミキサーの場合は、ハブは使わずに直接ミキサー背面の LAN ポートに接続してください。
- 無線ルーター（市販）およびアクセスポイント（市販）は IEEE802.11n, IEEE802.11g 等の十分な通信速度が得られる製品をお使いください。使用環境の電波状況や、無線ルーターおよびアクセスポイントによっては、PRO DJ LINK 接続が正常に動作しない場合があります。

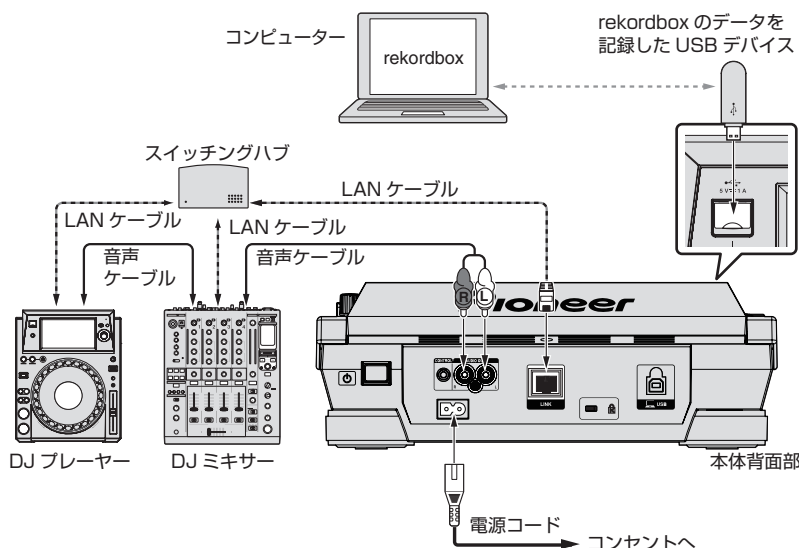
LAN ポートが 1 つしかないミキサーに接続する場合

LAN ポートが 1 つしかないミキサーにスイッチングハブを使って接続する場合、rekordbox の音楽ファイル管理機能を最大限に使用するために、音声ケーブルが接続されたミキサー側のチャンネル番号と本体表示部左下部のプレーヤー番号を合わせてください。

(例：チャンネル 1 に音声ケーブルで接続する場合)

プレーヤー番号を変更したい場合は、以下の手順に従って変更してください。
① USB デバイスを取り外し、LAN ケーブルを抜く
② [**MENU (UTILITY)**] を 1 秒以上タッチして、[**UTILITY**] 画面を表示させる
③ ロータリーセレクターを回して [**PLAYER No.**] を選び、ロータリーセレクターを押す
④ ロータリーセレクターを回してプレーヤー番号を選び、ロータリーセレクターを押して決定する

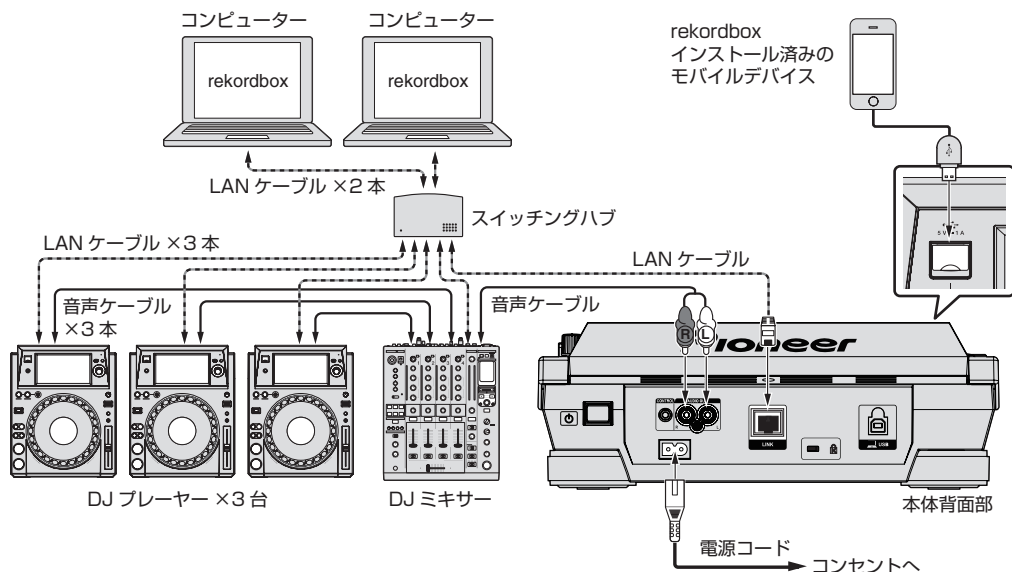
⑤ [**MENU (UTILITY)**] をタッチして、設定を終了する

PRO DJ LINK(USB Export)

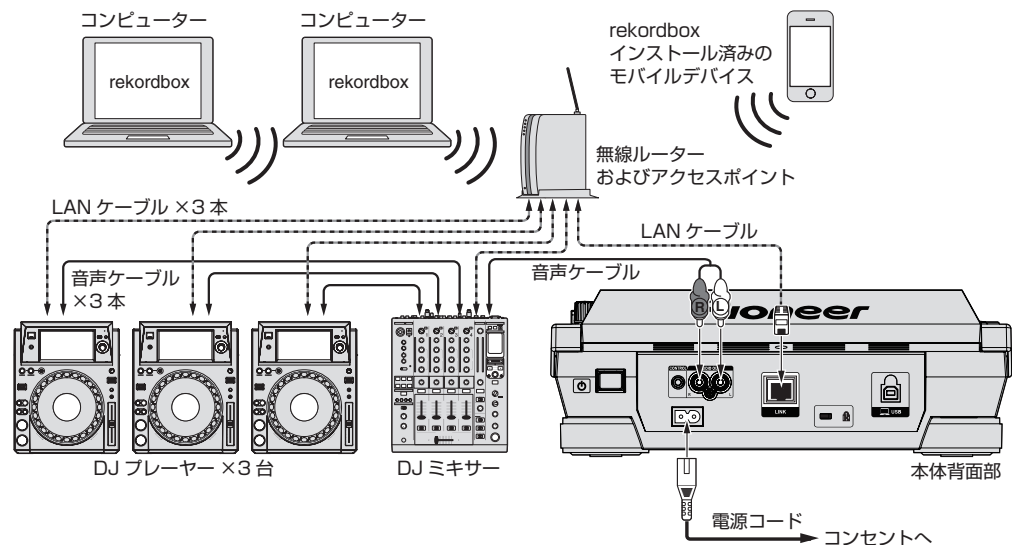
- DJ ブースにコンピューターを持ち込まずに、メモリーデバイス (フラッシュメモリー、ハードディスク等) を使って、rekordbox の音楽ファイルやデータを本機と受け渡しできます。rekordbox であらかじめ設定しておいたプレイリスト、キュー、およびループなどの情報を使って演奏できます。

PRO DJ LINK(LINK Export)

- DJ ブースにコンピューターを持ち込み、rekordbox がインストールされているコンピューターと LAN ケーブル (CAT5e) または無線 LAN (Wi-Fi) ルーターを使って接続すると、rekordbox 内のトラックを選曲および再生できます。rekordbox であらかじめ設定しておいたプレイリスト、キュー、ループなどの情報を使って演奏できます。
- rekordbox (iOS/Android) がインストールされているモバイルデバイスと USB ケーブルまたは無線 LAN (Wi-Fi) ルーターを使って接続すると、rekordbox 内のトラックを選曲および再生できます。rekordbox であらかじめ設定しておいたプレイリスト、キュー、ループなどの情報を使って演奏できます。
- 有線 LAN 接続の場合、rekordbox がインストールされたコンピューターを最大 2 台まで接続できます。
- 無線 LAN (Wi-Fi) 接続の場合、rekordbox がインストールされたコンピューターまたはモバイルデバイスを最大 4 台まで接続できます。

本製品に接続できる iPod/iPhone

- 本製品は iPhone 6 Plus、iPhone 6、iPhone 5s、iPhone 5c、iPhone 5、iPhone 4s、iPhone 4、iPhone 3GS、iPod touch (第 3 世代、第 4 世代、第 5 世代) に対応しています。
- 最新の対応機器については、以下の Pioneer DJ サポートサイトでご確認ください。
http://pioneerdj.com/support/

❖ スイッチングハブを使うとき

- 本製品と iPod および iPhone を接続する場合はお手持ちの iPod ケーブルをお使いください。
- LAN ポートが 1 つしかないミキサーと接続する場合は、スイッチングハブ (市販) が必要です。LAN ポートがシステム内の DJ プレーヤーおよびコンピューターの台数分あるミキサーの場合は、ハブは使わずに直接ミキサー背面の LAN ポートに接続してください。

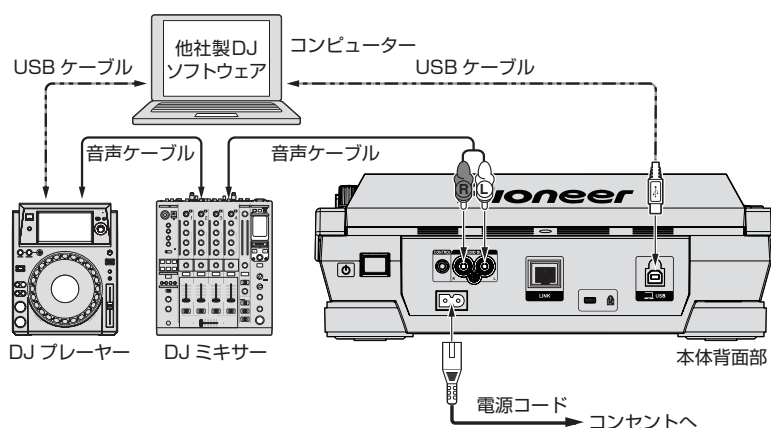
❖ 無線ルーターおよびアクセスポイントを使うとき

ご注意

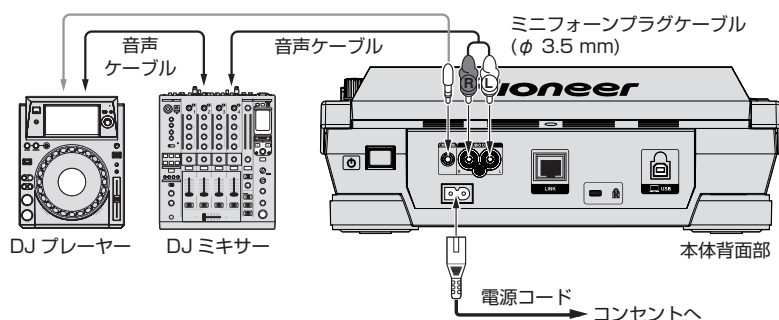
rekordbox の音楽ファイル管理機能を最大限に使用するために、ミキサーに入力した音声ケーブルのチャンネルとプレーヤー番号を合わせてください。

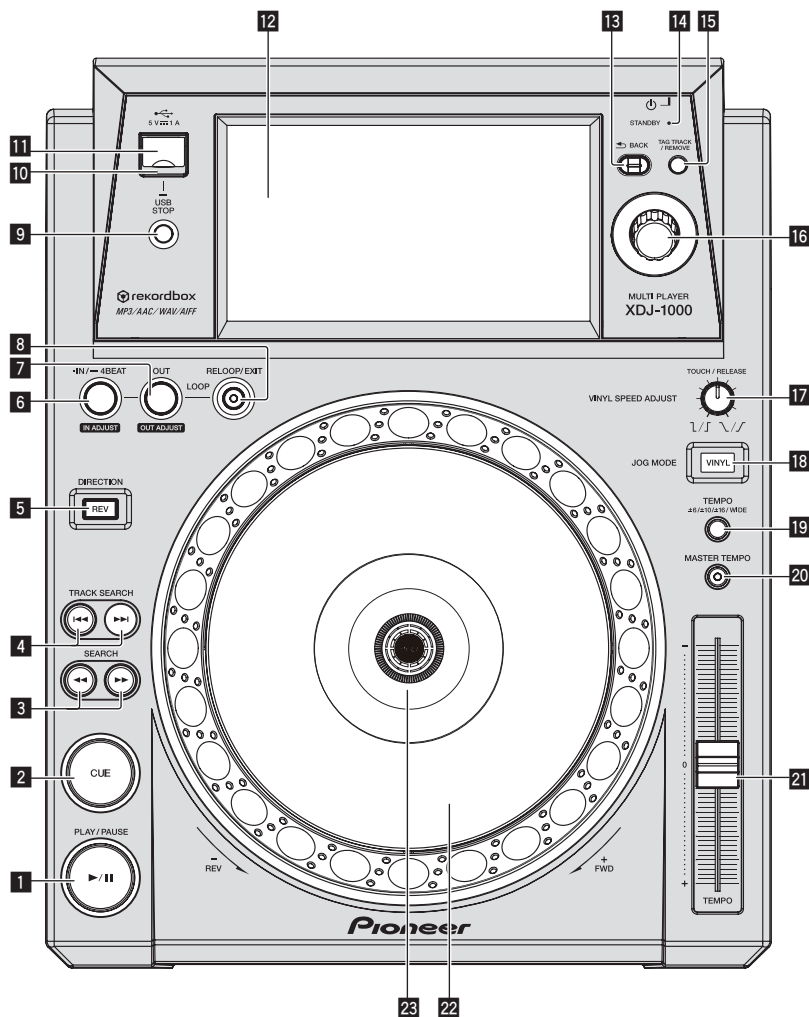
プレーヤー番号が異なるときは [**UTILITY**] 画面から [**PLAYER No.**] を変更してください。

- 本機にメディアがセットされているときは、[**PLAYER No.**] が灰色で表示され、変更できません。メディアを抜き、LAN ケーブルを抜くなどをしてリンクをオフにしてから設定を変更してください。

他社製 DJ ソフトウェアを使う

本機はボタンやテンポ調整つまみなどの操作情報を汎用の MIDI 形式でも出力します。MIDI 対応の DJ ソフトウェアをインストールしたコンピューターと USB ケーブルを使って接続すると、本機で DJ ソフトウェアを操作できます。また、コンピューターで再生している音楽ファイルの音声を本機から出力できます。詳しくは、31 ページの「ドライバーソフトウェアをインストールする」および 32 ページの「他社製 DJ ソフトウェアを使う」をご覧ください 。

リレー再生のための接続をする

本機とパイオニア製 DJ プレーヤーの [**CONTROL**] 端子どうしをミニフォーンプラグケーブル (ø 3.5 mm) を使って接続すると、2 台の DJ プレーヤーをリレー再生できます (24 ページ)。

各部の名前とはたらき

コントロールパネル

1 PLAY/PAUSE ►/II ボタン
トラックを再生しているとき点灯します。一時停止しているとき点滅します。
➲ 「一時停止する」(p.17)

2 CUE ボタン
キューポイントが設定されているとき点灯します (頭出し (トラックサーチ) 中を除く)。一時停止中に新しいキューポイントが設定できるとき点滅します。
➲ 「キューを設定する」(p.19)

3 SEARCH ◄◄, ►► ボタン
ボタンを押している間、トラックを早送り / 早戻しします。
➲ 「早送り / 早戻しする」(p.17)

4 TRACK SEARCH I◄◄, ►►I ボタン
トラックを頭出しします。
➲ 「頭出しする (トラックサーチ)」(p.17)

5 DIRECTION REV ボタン
逆再生をオン / オフします。
➲ 「逆再生する」(p.18)

6 IN/4BEAT (IN ADJUST)
ループインポイントを設定および微調整します。
➲ 「ループを設定する」(p.19)

7 OUT (OUT ADJUST) ボタン
ループアウトポイントを設定および微調整します。
➲ 「ループを設定する」(p.19)

8 RELOOP/EXIT ボタン
ループ再生に戻る (リループ)、またはループ再生を解除します (ループイグジット)。
➲ 「ループ再生に戻る (リループ)」(p.20)

9 USB STOP ボタン
USB デバイスを取り外す前に 2 秒以上押します。
➲ 「USB デバイスの外しかた」(p.16)

10 USB インジケーター
USB デバイスと通信しているときに点滅します。
➲ 「USB に設定されている色を変更する」(p.29)

11 USB デバイス挿入口
USB デバイスをセットします。
➲ 「USB デバイスの接続のしかたと外しかた」(p.16)

12 タッチディスプレイ
➲「通常再生画面 (表示部)」(p.13)

13 BACK ボタン
1 回押すと 1 つ前の画面に戻ります。
1 秒以上押すと一番上の階層に移動します。
➲「本機にセットされたメディアを再生する」(p.16)

14 STANDBY インジケーター
スタンバイ状態のときに点灯します。
➲「オートスタンバイを設定する」(p.30)

15 TAG TRACK/REMOVE ボタン
タグリストにトラックを追加 / 削除します。
➲「タグリストを編集する」(p.26)

16 ロータリーセレクター
トラックや設定項目を選ぶとき、ロータリーセレクターを回すとカーソルが移動します。決定するときはロータリーセレクターを押します。

17 VINYL SPEED ADJUST TOUCH/RELEASE ツマミ
➲「ジョグダイヤルの天面を押して再生が減速して停止するまでの速度、およびジョグダイヤルの天面から手を放して通常の再生に戻るまでの速度を調整する」(p.18)

18 JOG MODE VINYL ボタン
押すたびに VINYL モードと CDJ モードを切り換えます。VINYL モードを選んでいるとき、インジケーターが点灯します。
➲「ジョグダイヤルのモードを切り換える」(p.18)

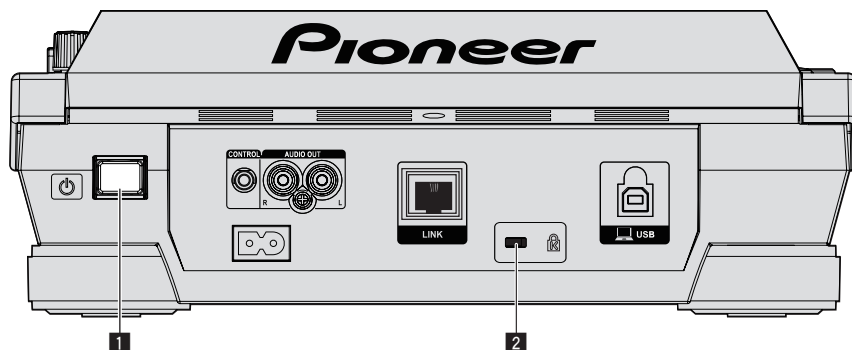
19 TEMPO ±6/±10/±16/WIDE ボタン
再生速度の調整範囲を切り換えます。
➲「再生速度を調整する (テンポコントロール)」(p.17)

20 MASTER TEMPO ボタン
マスターテンポをオン / オフします。
➲「音程を変えずに再生速度を調整する (マスターテンポ)」(p.17)

21 TEMPO スライダー
トラックの再生速度を調整します。
➲「再生速度を調整する (テンポコントロール)」(p.17)

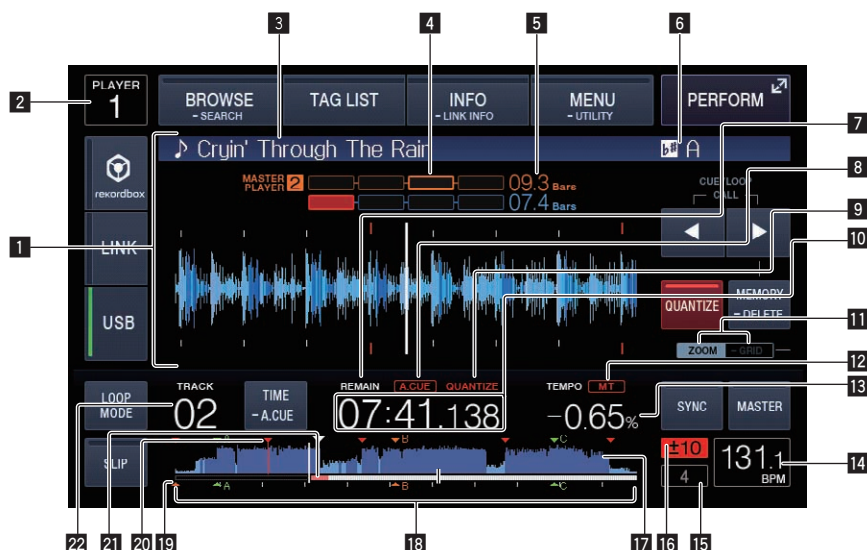
22 ジョグダイヤル
スクラッチやピッチベンドなどの操作ができます。
➲「ジョグダイヤルを操作する」(p.18)

23 ジョグダイヤル表示部
➲「ジョグダイヤル表示部」(p.15)

本体背面部

接続に使う端子については、7 ページの「各端子の説明」をご覧ください。

1 ⏻ スイッチ
本機の電源をオン / オフします。

2 ケンジントンロック装着用穴

通常再生画面 (表示部)

1 情報表示部
rekordbox で解析した拡大波形をなどを表示します。

2 プレーヤー番号 (1 ～ 4)
本機に割り当てられたプレーヤー番号 (1 ～ 4) を表示します。

3 トラック名

4 フェーズメーター
ビートシンク機能でマスタープレーヤーとの小節や拍のズレを表示します。

5 ビートカウントダウン
現在再生位置から一番近い、保存されたキューポイントまでの小節数、拍数を表します。

6 キー
楽曲のキー (調) を表示します。

7 REMAIN
時間表示を残り時間表示に設定しているとき点灯します。

8 A. CUE
オートキューを設定しているとき点灯します。
➲ 「オートキューを設定する」(p.19)

9 QUANTIZE
クオンタイズ機能をオンに設定しているときに表示されます。

10 時間表示 (分、秒、msec)
残り時間または経過時間を表示します。

11 ZOOM モード、GRID ADJUST モード表示
ロータリーセレクターを 1 秒以上押すと、[**ZOOM**] モードと [**GRID ADJUST**] モードが切り換わります。
- [**ZOOM**] モード：ロータリーセレクターを回すと波形を拡大 / 縮小できます。
- [**GRID ADJUST**] モード：ロータリーセレクターを回すとビートグリッドを調整できます。

➲ 「拍位置を調整する (アジャストビートグリッド)」(p.23)

12 MT
マスターテンポを設定しているとき点灯します。
➲ 「音程を変えずに再生速度を調整する (マスターテンポ)」(p.17)

13 再生速度表示
[**TEMPO**] スライダーの位置に従って、数値が変化します。

14 BPM 表示
再生しているトラックの BPM (=Beats Per Minute。1 分間の拍数) を表示します。
- 本機で測定した BPM 値が音源の公称値、または当社の DJ ミキサーなどと異なることがあります。これは BPM の測定方法などが違うためであり故障ではありません。

15 ループ拍表示
ループに設定されているループの拍数を表示します。

16 再生速度可変範囲表示
メディアに記録されている元々の再生速度に対して、再生速度を調整できる範囲を表示します。

17 波形表示
音声を波形で表示します。

18 プレーイングアドレス表示 / 目盛表示（1 分間隔）
トラック (1 曲) を棒グラフで表示します。現在の再生位置を白色の縦線で表示します。経過時間を表示するときはグラフの左端から点灯します。残り時間を表示するときは左端から消灯します。トラックの残り時間が 30 秒以下になるとグラフ全体がゆっくり点滅し、15 秒以下になると早く点滅します。

19 キューポイント、ホットキューポイントおよびループポイント表示
設定しているキューポイント、ホットキューポイントおよびループポイントの位置をマークで表示します。

20 キュー / ループポイントメモリー
USB デバイスに記録されているキューポイントおよびループポイントをマークで表示します。

21 キャッシュメーター
現在再生中の曲が、曲のどの部分までメモリー上にキャッシュされているかを表示します。

22 トラック番号表示
トラック番号 (01 ～ 999) を表示します。

通常再生画面 (タッチキー)

1 SLIP
➲「スリップを使う」(p.22)

2 LOOP MODE
➲「曲のテンポをもとに自動的にループを設定する (オートビートループ)」(p.20)

3 USB
USB デバイス内の音楽ファイルを再生するときにタッチします。
➲「本機にセットされたメディアを再生する」(p.16)

4 LINK
他の DJ プレーヤー内の音楽ファイルを再生するときにタッチします。
➲「他の DJ プレーヤー内の音楽ファイルを再生する」(p.17)

5 rekordbox
rekordbox 内の音楽ファイルを再生するときにタッチします。
➲「コンピューター上およびモバイルデバイス上の rekordbox のライブラリを再生する」(p.17)

6 BROWSE (SEARCH)
ブラウズ画面を表示するときにタッチします。
[**BROWSE (SEARCH)**] に 1 秒以上タッチすると、曲の検索ができます。
➲「ブラウズ画面に切り換える」(p.24)
➲「トラックを探す」(p.25)

7 TAG LIST
タグリスト画面を表示するときにタッチします。
➲「タグリストを編集する」(p.26)

8 INFO (LINK INFO)
トラックの詳細情報を表示するときにタッチします。
[**INFO (LINK INFO)**] に 1 秒以上タッチすると他の DJ プレーヤーにロードされているトラックの詳細情報を表示します。
➲「ロードされているトラックの詳細情報を表示する」(p.28)

9 MENU (UTILITY)
メニュー画面を表示するときにタッチします。
1 秒以上タッチすると [**UTILITY**] 画面を表示します。
➲「[UTILITY] 画面を表示する」(p.29)

10 PERFORM
パフォーマンス画面を表示するときにタッチします。

11 CUE/LOOP CALL ◀(LOOP 1/2X), ▶(LOOP 2X)
保存されているキューまたはループを呼び出します。
➲「保存されているキューポイントまたはループポイントを呼び出す」(p.21)
ループ再生中に押すとループを分割または延長します。
➲「ループを分割する (ループカッター)」(p.20)
➲「ループを延長する（ループダブル）」(p.20)

12 MEMORY (DELETE)
キューポイントまたはループポイントを保存します。
1 秒以上タッチし続けると、キューポイントまたはループポイントを消去します。
➲「キューポイントまたはループポイントを保存する」(p.21)

13 QUANTIZE
クオンタイズ機能を使うときにタッチします。
クオンタイズ機能をオンに設定すると、ループインポイント、ループアウトポイント、キューを設定するときに最も近い拍位置にポイントを自動で合わせます。
また、ループ、リバース、スリップなどがビートを崩さずに使えます。
- クオンタイズ機能をオンに設定すると、本体表示部に [**QUANTIZE**] が表示されます。

rekordbox で解析されていない音楽ファイルを再生しているときは、クオンタイズ機能は働きません (灰色で表示されます)。

14 BEAT SYNC
ビートシンク機能をオンします。
➲「ビートシンクを使う」(p.23)

15 BEAT SYNC MASTER
本機にロードされたトラックをビートシンク機能でのマスターにします。
➲「ビートシンクを使う」(p.23)

16 TIME（A. CUE）
タッチすると時間表示 (残り時間表示または経過時間表示) を切り換えます。
1 秒以上タッチし続けるとオートキューをオン / オフします。
➲「オートキューを設定する」(p.19)

17 波形表示
➲「波形部に触れた位置から再生する」(p.23)

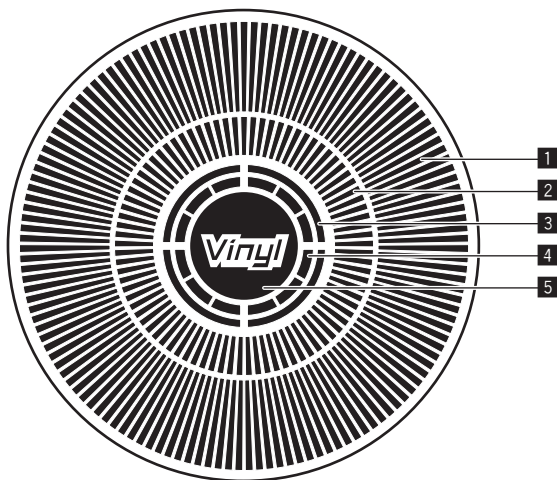
パフォーマンス画面

1 BEAT JUMP（LOOP MOVE）
ループ状態のときは、ループムーブ機能が使えます。
➲「ビートジャンプを使う」(p.21)
➲「ループムーブを使う」(p.22)

2 HOT CUE（A,B,C）
➲「ホットキューを再生する」(p.20)

3 HOT CUE（REC）
➲「ホットキューを設定する」(p.20)

4 HOT CUE（CALL）
➲「ホットキューを呼び出す」(p.20)

ジョグダイヤル表示部

1 動作表示
1 周 1.8 秒として再生位置を表示します。再生中は回転し一時停止中は停止します。

2 キューポイント表示 / スリップ再生表示

3 音声メモリー状態表示
音声メモリー書き込み中に点滅します。書き込みが完了すると点灯します。
音声メモリーを書き込み中は、リアルタイムキューの操作ができないことがあります。
スクラッチプレイによってメモリーが不足したときも点滅します。

4 ジョグタッチ検出表示
ジョグモードを VINYL モードに設定しているとき、ジョグダイヤル天面を押すと点灯します。

5 VINYL
ジョグモードを VINYL モードに設定しているとき点灯します。
➲「ジョグダイヤルのモードを切り換える」(p.18)

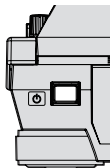
操作する（基本編）

電源の入れかた

1 各接続を行い、コンセントに電源コードを挿す

➲「接続する」(p.7)

2 [⏻] スイッチを押す

本機のインジケーター類が点灯し、電源がオンになります。

電源の切りかた

[⏻] スイッチを押す

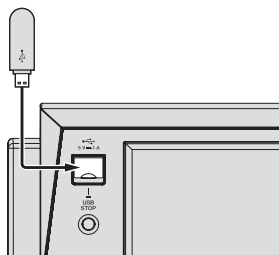
本機の電源がオフになります。

- USB インジケーターが点滅中に USB デバイスを取り外したり、本機の電源をオフしないでください。本機の管理データが消去されることがあります。また、USB デバイスが読み込めなくなることがあります。

USB デバイスの接続のしかたと外しかた

USB デバイスの接続のしかた

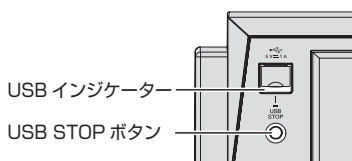
1 [⏻] スイッチを押して、本機の電源を入れる

2 USB デバイス挿入口のカバーを開け、USB デバイスを接続する

通信中は、インジケーターが点滅します。
USB インジケーターの色は、USB デバイスに設定されている色に変わります。

➲「USB に設定されている色を変更する」(p.29)

USB デバイスの外しかた

1 USB インジケーターの点滅が止まるまで [USB STOP] ボタンを押す

- USB インジケーターが点滅中に USB デバイスを取り外したり、本機の電源をオフしないでください。本機の管理データが消去されることがあります。また、USB デバイスが読み込めなくなることがあります。

2 USB デバイスを引き抜く

3 USB デバイス挿入口のカバーを閉じる

再生する

ここでは、基本的な選曲操作と画面の切り換え方を説明します。

➲「他の DJ プレーヤー内の音楽ファイルを再生する」(p.17)
➲「コンピューター上およびモバイルデバイス上の rekordbox のライブラリを再生する」(p.17)

本機にセットされたメディアを再生する

1 メディアを本機にセットする

➲「USB デバイスの接続のしかた」(p.16)

2 [USB] にタッチする

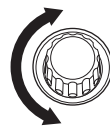
トラックやフォルダーがリストになって表示されます。

本体表示部に表示するメディアの中身は、切り換えることができます。

- [**USB**]：接続されている USB デバイス、モバイルデバイスの中身を表示します。
- [**LINK**] にタッチすると、他の DJ プレーヤー内の音楽ファイルを表示します。
- [**rekordbox**] にタッチすると、rekordbox 内の音楽ファイルを表示します。

- USB デバイス内に rekordbox のライブラリー情報が書き込まれていた場合は、rekordbox のライブラリーを表示します。
  ➲「コンピューター上およびモバイルデバイス上の rekordbox のライブラリを再生する」(p.17)

3 ロータリーセレクターを回す

カーソルを動かして項目を選択します。

- フォルダーの下位階層に進むときはロータリーセレクターを押します。上位階層に戻るときは [**BACK**] ボタンを押します。
- [**BACK**] ボタンを 1 秒以上押す、またはブラウズしているメディアのメディアボタンを押すと、一番上の階層に移動します。
- [**TRACK SEARCH** ⏮, ⏭] ボタンを使っても、再生しているトラックが含まれているカテゴリー / フォルダー内のトラックを選べます。

4 トラックを選んでロータリーセレクターを押す

トラックをロードすると、画面は通常再生画面に切り換わります。

➲「通常再生画面（表示部）」(p.13)

- [**UTILITY**] メニューの [**LOAD LOCK**] が [**LOCK**] に設定されているときは、再生中に新たなトラックのロードはできません。[**LOAD LOCK**] を [**UNLOCK**] に設定するか、[**PLAY/PAUSE**▶/**II**] ボタンを押して一時停止してからトラックをロードしてください。
- オートキューをオンに設定しているときは、音声開始位置で一時停止状態になります。その場合、[**PLAY/PAUSE**▶/**II**] ボタンを押すと再生が始まります。
  ➲「オートキューを設定する」(p.19)

他の DJ プレーヤー内の音楽ファイルを再生する

PRO DJ LINK 接続されている他プレーヤーに挿入されている記録メディア、または rekordbox をインストールしたモバイルデバイスの中身を本機の画面に表示します。

1 記録メディア、または rekordbox をインストールしたモバイルデバイスを PRO DJ LINK 接続中の他プレーヤーにセットする

2 [LINK] をタッチする

他プレーヤーに挿入されている記録メディア、または rekordbox をインストールしたモバイルデバイスのトラックやフォルダーが表示されます。

- 複数のメディアが接続されている場合は、メディアの選択画面が表示されます。
- USB デバイス内に rekordbox のライブラリー情報が書き込まれていた場合は、rekordbox のライブラリーを表示します。

➲「コンピューター上およびモバイルデバイス上の rekordbox のライブラリを再生する」(p.17)

3 ロータリーセレクターを回す

カーソルを動かして項目を選択します。

4 トラックを選んでロータリーセレクターを押す

トラックをロードすると、画面は通常再生画面に切り換わります。トラックがロードされて再生が始まります。

➲「通常再生画面 (表示部)」(p.13)

❖ rekordbox のライブラリが書き込まれていた場合

本機または PRO DJ LINK 接続されている他プレーヤーに挿入されている USB デバイス内に rekordbox のライブラリ情報が書き込まれていた場合は、rekordbox のライブラリを表示します。

- 音楽ファイルを rekordbox で設定したカテゴリー (アルバム、アーティストなど) で表示します。
- カテゴリーメニューの項目の種類は、rekordbox のプリファレンス (環境設定) で変更できます。

コンピューター上およびモバイルデバイス上の rekordbox のライブラリを再生する

音楽ファイルを rekordbox で設定したカテゴリー (アルバム、アーティストなど) で表示します。

1 [rekordbox] をタッチする

rekordbox のライブラリが本機の本体表示部に表示されます。

- 無線 LAN (Wi-Fi) 接続の場合、接続時に本機の本体表示部に [**接続を許可する場合は、ロータリーセレクタを押してください。**] が表示されたら、ロータリーセレクターを押すと接続できます。
- USB 接続したモバイルデバイスを選ぶときは [**USB**] をタッチしてください。
  また PRO DJ LINK 接続されている他プレーヤーに接続したモバイルデバイスを選ぶときは [**LINK**] をタッチしてください。

2 ロータリーセレクターを回す

カーソルを動かして項目を選択します。

3 トラックを選んでロータリーセレクターを押す

トラックをロードすると、画面は通常再生画面に切り換わります。トラックがロードされて再生が始まります。

➲「通常再生画面 (表示部)」(p.13)

ロード・プリビアス・トラック

過去に再生された最新 7 曲の曲名を表示して選曲できます。

1 通常再生画面を表示する

➲「通常再生画面 (表示部)」(p.13)

2 [MENU (UTILITY)] をタッチする

3 ロータリーセレクターを回して曲を選び、ロータリーセレクターを押して再生を決定する

- [**MENU (UTILITY)**] にタッチするか、[**BACK**] ボタンを押すと曲名表示が消えます。

一時停止する

再生中に [PLAY/PAUSE ►/II] ボタンを押す

[**PLAY/PAUSE►/II**] ボタンと [**CUE**] ボタンが点滅します。もう一度 [**PLAY/PAUSE►/II**] ボタンを押すと再生を再開します。

早送り / 早戻しする

[SEARCH ◄◄, ►►] ボタンを押す

[**SEARCH ◄◄, ►►**] ボタンを押し続けている間、早送り / 早戻しします。

- カテゴリー / フォルダーを飛び越えての早送り / 早戻しはできません。

頭出しする (トラックサーチ)

[TRACK SEARCH I◄◄, ►►I] ボタンを押す

[**►►I**] を押すと次のトラックの先頭に進みます。
[**I◄◄**] を押すと再生中のトラックの先頭に戻ります。2 回続けて押すと 1 つ前のトラックの先頭に戻ります。

- カテゴリー / フォルダーを飛び越えての頭出しはできません。
- rekordbox (iOS/Android) の曲はシングルモードで動作するため、他のトラックへのサーチはできません。

再生速度を調整する (テンポコントロール)

[TEMPO ±6/±10/±16/WIDE] ボタンを押す

押すたびに [**TEMPO**] スライダーの可変範囲が切り換わります。可変範囲の設定値が本体表示部に表示されます。

設定値	調整単位
±6	0.02 %
±10	0.05 %
±16	0.05 %
WIDE	0.5 %

[**WIDE**] の調整範囲は± 100 % です。− 100 % に設定すると再生が停止します。

- 電源をオンしたときは± 10 % に設定されます。

[TEMPO] スライダーを前後に動かす

[+] (手前) 側に動かすと再生速度が速くなり、[−] (奥) 側に動かすと再生速度が遅くなります。再生速度を変化させている割合が再生速度表示に表示されます。

音程を変えずに再生速度を調整する (マスターテンポ)

1 [MASTER TEMPO] ボタンを押す

[**MASTER TEMPO**] ボタンと本体表示部の [**MT**] が点灯します。

2 [TEMPO] スライダーを前後に動かす

[**TEMPO**] スライダーで再生速度を変えても音程は変わりません。

- 音声をデジタル加工するため音質が悪くなります。

逆再生する

- クオンタイズ機能をオンにしているときは、拍に合わせるために機能の動作に若干の遅れが生じることがあります。

[DIRECTION REV] ボタンを押す

ボタンが点灯し、逆方向に再生します。
- 音楽ファイルがフォルダー構造で記録されているときは、同じカテゴリー / フォルダーに入っているトラックだけ逆再生できます。また、逆再生がすぐに始まらないことがあります。
- ジョグダイヤルの回転方向に応じた演奏の加・減速が逆向きになります。
- 逆再生中に、頭出し（トラックサーチ）やループ再生などの操作をすると、ジョグダイヤル表示部の音声メモリー状態表示が点滅してスクラッチプレイができないことがあります。

ジョグダイヤルを操作する

- ジョグダイヤルの天面にはスイッチが内蔵されています。物を載せたり、強い力を加えないでください。
- 飲料水などの液体が製品内部に入ると故障の原因になります。

ジョグダイヤルのモードを切り換える

[JOG MODE VINYL] ボタンを押す

ボタンを押すたびに VINYL モードと CDJ モードが切り換わります。
- VINYL モード : 再生中にジョグダイヤルの天面を押すと再生を停止し、そのまま回すと回転に応じた音声が出ます。
- CDJ モード : ジョグダイヤルの天面を押しても再生は停止しません。またスクラッチなどの操作ができません。

ピッチベンド

再生中にジョグダイヤルの天面を触らずに外周部分を回す

時計回りに回すと再生速度が加速します。反時計回りに回すと再生速度が減速します。回転を止めると、通常の再生速度に戻ります。
- ジョグモードを CDJ モードに設定しているときは、ジョグダイヤルの天面を回しても同じ操作ができます。

スクラッチ

ジョグモードを VINYL モードに設定しているとき、ジョグダイヤルの天面を押しながら回すことによってジョグダイヤルの回転方向と回転速度に応じた再生ができます。

1 [JOG MODE VINYL] ボタンを押す

ジョグモードを VINYL モードに設定します。

2 再生中にジョグダイヤルの天面を押す

再生が減速してから停止します。

3 ジョグダイヤルを再生したい方向と速度で回す

ジョグダイヤルの回転方向と回転速度に応じて音声が再生されます。

4 ジョグダイヤルの天面から手を放す

通常の再生に戻ります。

フレームサーチ

一時停止中にジョグダイヤルを回す

0.5 フレーム単位で一時停止位置を移動できます。
- 0.5 フレームは約 6.7 msec です。
- 時計回りで再生方向、反時計回りで逆方向に移動します。ジョグダイヤルを 1 回転すると 1.8 秒移動します。

スーパー・ファースト・サーチ

[SEARCH ◀◀, ▶▶] ボタンを押しながらジョグダイヤルを回す

ジョグダイヤルを回す方向に高速で早送り / 早戻しします。
- [SEARCH ◀◀, ▶▶] ボタンから指を放すと、この機能は解除されます。
- ジョグダイヤルの回転を止めると、通常の再生を再開します。
- ジョグダイヤルの回転速度に応じて早送り / 早戻し速度を調節できます。

スーパー・ファースト・トラックサーチ

[TRACK SEARCH |◀◀, ▶▶|] ボタンを押しながらジョグダイヤルを回す

ジョグダイヤルを回す方向に高速でトラックを送ります。

ジョグダイヤルの天面を押して再生が減速して停止するまでの速度、およびジョグダイヤルの天面から手を放して通常の再生に戻るまでの速度を調整する

[VINYL SPEED ADJUST TOUCH/RELEASE] を回す

右に回すほど速度が遅くなり、左に回すほど速度が速くなります。
- ジョグモードを VINYL モードに設定しているとき、[PLAY/PAUSE▶/II] を押して再生が開始および停止する速度も同時に変更されます。

操作する (応用編)

キューを設定する

1 再生中に [PLAY/PAUSE ▶/II] ボタンを押す

再生を一時停止します。

2 [CUE] ボタンを押す

一時停止していた位置が、キューポイントに設定されます。
[PLAY/PAUSE▶/II] インジケーターが点滅し、[CUE] インジケーターが点灯します。このとき音声は出力されません。
- 新しいキューポイントを設定すると、以前に設定したキューポイントは解除されます。

キューポイントの位置を修正する

1 キューポイントで一時停止中に [SEARCH ◀◀, ▶▶] ボタンを押す

[PLAY/PAUSE▶/II] インジケーターと [CUE] インジケーターが点滅します。

2 [SEARCH ◀◀, ▶▶] ボタンを押す

0.5 フレーム単位でキューポイントを微調整できます。
- ジョグダイヤルを使っても同じ操作ができます。

3 [CUE] ボタンを押す

ボタンを押した位置が新しいキューポイントに設定されます。
- 新しいキューポイントを設定すると、以前に設定したキューポイントは解除されます。

キューポイントに戻る (バックキュー)

再生中に [CUE] ボタンを押す

設定されているキューポイントに瞬時に戻り、頭出しされて一時停止状態になります。
- [PLAY/PAUSE ▶/II] ボタンを押すと、キューポイントから再生が始まります。

キューポイントを確認する (キューポイントサンプラー)

キューポイントに戻ったあとに [CUE] ボタンを押し続ける

設定されているキューポイントから再生が始まります。[CUE] ボタンを押し続けている間、再生を続けます。
- キューサンプラー中に [PLAY/PAUSE ▶/II] ボタンを押すと、[CUE] ボタンから指を放してもそのまま続けて再生します。

再生しながらキューポイントを設定する (リアルタイムキュー)

再生中にキューポイントに設定したい位置で [IN/4BEAT (IN ADJUST)] ボタンを押す

ボタンを押した位置がキューポイントに設定されます。

オートキューを設定する

トラックをロードしたとき、または頭出し (トラックサーチ) したとき、トラック先頭の無音部分を飛ばして音声が始まる直前に自動でキューポイントを設定します。

[TIME (A. CUE)] を 1 秒以上タッチする

[A. CUE] が点灯します。
- [TIME (A. CUE)] をふたたび 1 秒以上タッチすると、オートキューがオフに設定されます。
- 電源をオフにしてもオートキューの設定は記憶されます。

ループを設定する

指定した区間を繰り返し再生できます。
- クオンタイズ機能をオンにしているときは、拍に合わせるために機能の動作に若干の遅れが生じることがあります。

1 再生中にループ再生を始めたい位置 (ループインポイント) で [IN/4BEAT (IN ADJUST)] ボタンを押す

ループインポイントが設定されます。
- あらかじめ設定されているキューポイントをループインポイントにするときは、この操作は必要ありません。

2 ループ再生を終わりたい位置 (ループアウトポイント) で [OUT (OUT ADJUST)] ボタンを押す

ループアウトポイントが設定され、ループ再生を始めます。

ループインポイントを微調整する (ループインアジャスト)

1 ループ再生中に [IN/4BEAT (IN ADJUST)] ボタンを押す

[IN/4BEAT (IN ADJUST)] ボタンが速い点滅に変わり、[OUT (OUT ADJUST)] ボタンが消灯します。
本体表示部にループインポイントの時間が表示されます。

2 [SEARCH ◀◀, ▶▶] ボタンを押す

0.5 フレーム単位でループインポイントを微調整できます。
- ジョグダイヤルを使っても同じ操作ができます。
- ループインポイントの調整可能範囲は± 30 フレームです。
- ループインポイントはループアウトポイントより後ろに設定することはできません。

3 [IN/4BEAT (IN ADJUST)] ボタンを押す

ループ再生に戻ります。
- 10 秒以上何も操作しないときも通常のループ再生に戻ります。

ループアウトポイントを微調整する (ループアウトアジャスト)

1 ループ再生中に [OUT (OUT ADJUST)] ボタンを押す

[OUT (OUT ADJUST)] ボタンが速い点滅に変わり、[IN/4BEAT (IN ADJUST)] ボタンが消灯します。
本体表示部にループアウトポイントの時間が表示されます。

2 [SEARCH ◀◀, ▶▶] ボタンを押す

0.5 フレーム単位でループアウトポイントを調整できます。
- ジョグダイヤルを使っても同じ操作ができます。
- ループアウトポイントはループインポイントより手前に設定することはできません。

3 [OUT (OUT ADJUST)] ボタンを押す

ループ再生に戻ります。
- 10 秒以上何も操作しないときも通常のループ再生に戻ります。

ループ再生を解除する (ループイグジット)

ループ再生中に [RELOOP/EXIT] ボタンを押す

ループアウトポイントになってもループインポイントには戻らず再生を続けます。

ループ再生に戻る（リループ）

ループ再生を解除したあと、再生中に [RELOOP/EXIT] ボタンを押す
前回設定したループインポイントに戻りループ再生を再開します。

曲のテンポをもとに自動的にループを設定する（オートビートループ）
指定した拍数でループが設定されて、ループ再生が始まります。

1 再生中に [LOOP MODE] をタッチする
本体表示部に拍数選択画面が表示されます。
- 拍選択画面は、ループを設定した時やスリップ機能をオンにした時にも表示されます。

2 設定したい拍数をタッチする

選択した拍数でループ再生が始まります。

3 [LOOP MODE] をタッチする
拍数選択画面が解除されます。
- 拍選択画面は、トラックをロードしたときにも解除されます。
- 楽曲解析を済ませていないトラックを再生しているときは、再生しているトラックの BPM に合わせてループが設定されます。
- トラックの BPM が検知できないときは、BPM は 130 に設定されます。

❖ 4 ビートループ

再生中に [IN/4BEAT (IN ADJUST)] ボタンを 1 秒以上押す
再生しているトラックの BPM に合わせて、押した位置から 4 拍のループが自動で設定され、ループ再生を始めます。
- トラックの BPM が検知できないときは、BPM は 130 に設定されます。

ループを分割する（ループカッター）

ループ再生中に [LOOP 1/2X] をタッチする
タッチするたびにループ再生の長さが半分に分割されます。

ループを延長する（ループダブル）

ループ再生中に [LOOP 2X] をタッチする
タッチするたびにループ再生の長さが倍に延長されます。

アクティブループを使う

rekordbox でアクティブループを設定したトラックをロードする
rekordbox で保存されたループの 1 つをアクティブループとして再生できます。
設定したアクティブループポイントは波形表示に以下の赤線のように表示されます。

再生位置が設定ポイントを通過すると自動でループが設定され、ループ再生を始めます。

エマージェンシーループ
本機は曲が再生し続けられなくなった場合、音切れを防ぐために自動で 4 ビートループを設定します。
- エマージェンシーループ中は DJ プレイが制限されます。エマージェンシーループを解除するには、次の曲をロードしてください。

ホットキューを設定する
ホットキューを設定しておくと、ポイントを呼び出して瞬時にそのポイントから再生が始められます。設定できるホットキューは、1 つの音楽トラックにつき最大 3 個です。
- クオンタイズ機能をオンにしているときは、拍に合わせるために機能の動作に若干の遅れが生じることがあります。

1 [PERFORM] をタッチする

2 [HOT CUE (REC)] をタッチする
ホットキューの記録モードに切り換わります。[**HOT CUE** (**A,B,C**)] が赤色に点灯します。

3 再生中または一時停止中にホットキューに設定したい位置で [HOT CUE (A,B,C)] のいずれかをタッチする
タッチした位置がホットキューに設定され、[**HOT CUE** (**A,B,C**)] が点滅します。
- ループ再生中の場合は、ループがホットキューとして登録されます。
  ホットキューには再生方向は記録されません。
  記録中は、他のホットキューへの記録、キューポイントの設定、早送り / 早戻し、およびスクラッチプレイはできません。
- スクラッチプレイ中にホットキューを設定すると、再生が一旦停止することがあります。

4 [HOT CUE (REC)] をタッチする
ホットキューの記録モードを解除し、再生モードに戻ります。

ホットキューを再生する

HOT CUE (**A,B,C**) の色について

点灯色	ホットキューに記憶されている内容
緑	キューポイント
オレンジ	ループ
無点灯	何も記憶されていない。

1 [PERFORM] をタッチする

2 ホットキュー再生モードに切り換える
ホットキューの記録モードになっているときは、[**HOT CUE**(**REC**)] をタッチしてください。ホットキューの呼び出しモードになっているときは、[**HOT CUE**(**CALL**)] をタッチしてください。

3 再生中または一時停止中に [HOT CUE (A,B,C)] のいずれかをタッチする
記録されているホットキューを呼び出して再生を始めます。
- [**HOT CUE** (**A,B,C**)] に記録されたループ再生は、[**IN/4BEAT** (**IN ADJUST**)] ボタンと [**OUT** (**OUT ADJUST**)] ボタンを使って設定したループ再生とは別の情報です。
- [**HOT CUE**(**A,B,C**)] に記録されたループを呼び出したあと、[**RELOOP/EXIT**] ボタンを使ってループ再生を解除したり、[**IN/4BEAT**(**IN ADJUST**)] ボタンを使ってループインポイントや [**OUT**(**OUT ADJUST**)] ボタンを使ってループアウトポイントを微調整できます。調整すると [**HOT CUE**(**A,B,C**)] に記録されている情報が変更されます。

ホットキューを呼び出す

1 ホットキューを呼び出したいトラックをロードする

2 [PERFORM] をタッチする

3 [HOT CUE (CALL)] をタッチする
ホットキューの呼び出しモードに切り換わり、ホットキューが記録されている [HOT CUE (A,B,C)] が点滅します。

4 ホットキューを呼び出したい [HOT CUE (A,B,C)] をタッチする
ホットキューが呼び出され、[HOT CUE (A,B,C)] が緑色またはオレンジ色に点灯します。
- ホットキューを呼び出したくないときは、[HOT CUE(A,B,C)] を押さないまま [HOT CUE (CALL)] を押します。ホットキューが呼び出されなかった場合は消灯します。
- ホットキューの呼び出しモードを誤って解除してしまったときは、もう一度 [HOT CUE (CALL)] をタッチします。
- トラックロード時に自動でホットキューを呼び出すように、rekordbox であらかじめ設定することもできます。
- ホットキューの自動ロードが設定されているトラックはトラックリスト内で が表示されます。

❖ ホットキューの呼び出しモードを解除する
ホットキューの呼び出しモードを解除するには、以下のいずれかの操作をします。
- ホットキュー A, B, C をすべて呼び出す
- [HOT CUE (CALL)] をタッチする

キューポイントまたはループポイントを保存する

1 キューポイントまたはループポイントを設定する

2 [MEMORY (DELETE)] をタッチする
本体表示部に [MEMORY] が数秒間表示され、USB デバイスにポイント情報が記録されます。
記憶されたキューポイントまたはループポイントは波形表示の上部に [▼] で表示されます。
- PRO DJ LINK 接続されている他の DJ プレーヤーにセットされているメディアを選ぶこともできます。
- ループポイントを保存するときは、ループ再生中に [MEMORY] をタッチします。保存したループポイントがプレーイングアドレス表示に表示されます。

保存されているキューポイントまたはループポイントを呼び出す

1 キューポイントまたはループポイントを呼び出したいトラックをロードする

2 [CUE/LOOP CALL ◀] または [CUE/LOOP CALL ▶] をタッチする
現在の再生位置よりも手前のポイントを呼び出したい場合は、[CUE/LOOP CALL◀] をタッチします。後ろのポイントを呼び出したい場合は、[CUE/LOOP CALL▶] をタッチします。
呼び出したポイントで頭出しされて一時停止状態になります。
- 複数のポイントが記録されているときは、ボタンを押すたびに他のポイントを呼び出します。
- rekordbox によってアクティブループとして設定されているループも、保存されたループとして呼び出せます。

3 [PLAY/PAUSE ▶/II] をタッチする
呼び出したポイントから再生またはループ再生を始めます。

保存されたキューポイントまたはループポイントを消去する

1 キューポイントまたはループポイントを消去したいトラックをロードする

2 [CUE/LOOP CALL ◀] または [CUE/LOOP CALL ▶] をタッチして、消去したいポイントを呼び出す
呼び出したポイントで頭出しされて一時停止状態になります。
- 複数のポイントが記録されているときは、[CUE/LOOP CALL ◀] または [CUE/LOOP CALL ▶] をタッチするたびに他のポイントを呼び出します。

3 [MEMORY (DELETE)] を 1 秒以上タッチする
本体表示部に [DELETE] と表示され、選んだポイント情報が消去されます。
- アクティブループとして設定されている保存されたループを消去した場合、アクティブループも消去されます。

オートキューのキューポイントを設定する
オートキューとして設定されるキューポイントを以下の方法から選ぶことができます。

無音部として認識する音圧レベルによる設定 (8 段階)
– 36 dB、– 42 dB、– 48 dB、– 54 dB、– 60 dB、– 66 dB、– 72 dB、– 78 dB

保存されたキューを自動でキューポイントにする設定
[MEMORY] に保存されたキューポイントのうち、曲の始めに最も近いものがオートキューのキューポイントに設定されます。
- [MEMORY] を設定した場合は本体表示部の [A. CUE] が白色で点灯します。

オートキューのキューポイントの設定は、以下の方法で変更できます。

1 [MENU (UTILITY)] を 1 秒以上タッチする
[UTILITY] 画面が表示されます。

2 ロータリーセレクターを回してから押す
[AUTO CUE LEVEL] を選びます。

3 ロータリーセレクターを回してから押す
音圧レベルの値、または [MEMORY] を選びます。

ビートジャンプを使う
選んだ拍の長さに応じて、再生位置を移動させることができます。
- ループが設定されているときは、ループを解除してください。

1 [PERFORM] をタッチする

2 拍の長さを選んでタッチする
選んだ拍の長さに応じて、再生位置が移動します。

- トラックの BPM が検知できないときは、BPM は 130 に設定されます。
- クオンタイズの機能をオンにしているときは、拍に合わせるために機能の動作に若干の遅れが生じることがあります。

ループムーブを使う

選んだ拍の長さに応じて、ループの再生位置を移動させることができます。

1 ループを設定する

2 ループ再生中に [PERFORM] をタッチする

3 拍の長さを選んでタッチする

選んだ拍の長さに応じて、ループの再生位置が移動します。

- トラックの BPM が検知できないときは、BPM は 130 に設定されます。
- クオンタイズの機能をオンにしているときは、拍に合わせるために機能の動作に若干の遅れが生じることがあります。

スリップを使う

スリップをオンにすると一時停止中（VINYL モード中)、スクラッチプレイ中、ループ再生中、または逆再生中にバックグラウンドで元のリズムを保ったまま通常の再生を続けます。スリップ動作を解除すると、解除するまでに経過した位置から通常の再生を再開します。

- クオンタイズ機能をオンにしているときは、拍に合わせるために機能の動作に若干の遅れが生じることがあります。
  (スリップビートループ、スリップリバース、スリップホットキュー、スリップビートジャンプ、スリップループムーブのみ)

スリップモード中の画面表示

- スリップモード中は、画面左下の [**SLIP**] が水色に点灯します。

スリップポーズ

1 [JOG MODE VINYL] ボタンを押す

ジョグモードを VINYL モードに設定します。

➲「ジョグダイヤルのモードを切り換える」(p.18)

2 [SLIP] をタッチする

スリップモードに切り換えます。

3 再生中に [PLAY/PAUSE ►/II] ボタンを押す

一時停止中もバックグラウンドで通常の再生を続けます。

4 [PLAY/PAUSE ►/II] ボタンを押して一時停止を解除する

- スリップポーズを解除するとバックグラウンドで再生されていた通常の再生に戻ります。その際、[**VINYL SPEED ADJUST TOUCH/RELEASE**] ツマミの調整値は無効となり、通常の速度で再生が始まります。

スリップスクラッチプレイ

1 [JOG MODE VINYL] ボタンを押す

ジョグモードを VINYL モードに設定します。

➲「ジョグダイヤルのモードを切り換える」(p.18)

2 [SLIP] をタッチする

スリップモードに切り換えます。

3 再生中にジョグダイヤルの天面を押す

スクラッチプレイします。

スクラッチプレイ中もバックグラウンドで通常の再生を続けます。

4 ジョグダイヤルの天面から手を放す

バックグラウンドで再生されていた通常の再生に戻ります。

スリップループ

1 [SLIP] をタッチする

スリップモードに切り換えます。

2 [IN/4BEAT (IN ADJUST)] ボタンを押してから [OUT (OUT ADJUST)] ボタンを押す

ループ再生を始めます。

ループ再生中もバックグラウンドで通常の再生を続けます。

- 8 秒以上のループは設定できません。
- [**IN/4BEAT** (**IN ADJUST**)] ボタンを 1 秒以上押してループを設定した場合も同じ動作をします。

3 [RELOOP/EXIT] ボタンを押す

ループが解除され、バックグラウンドで再生されていた通常の再生に戻ります。

スリップループムーブ

スリップループ中に拍の長さを選んでをタッチすると、スリップループムーブになります。

1 [SLIP] をタッチする

スリップモードに切り換えます。

2 [PERFORM] をタッチする

3 スリップループ再生中に拍の長さを選んでタッチし続ける

ループムーブが開始されます。

スリップループムーブしているあいだも、バックグラウンドで通常の再生を続けます。

- ループの長さによってはループムーブが使えない場合があります。

4 指を放す

スリップループムーブが解除され、スリップループムーブ再生する前のスリップループ再生に戻ります。

スリップリバース

1 [SLIP] をタッチする

スリップモードに切り換えます。

2 再生中に [DIRECTION REV] ボタンを押す

ボタンが点灯し、逆方向に再生します。

逆再生中もバックグラウンドで通常の再生を続けます。

- スリップリバースは、[**DIRECTION REV**] ボタンを押した位置から 8 拍経過した位置で自動的に解除されます。バックグラウンドで再生されていた通常の再生に戻ります。
- 8 拍経過する前にもう一度 [**DIRECTION REV**] ボタンを押すと、スリップリバースを解除してバックグラウンドで再生されていた通常の再生に戻ります。

スリップビートジャンプ

1 [SLIP] をタッチする
スリップモードに切り換えます。

2 [PERFORM] をタッチする

3 拍の長さを選んでタッチし続ける
ビートジャンプが開始されます。
スリップビートジャンプしているあいだも、バックグラウンドで通常の再生を続けます。

4 指を放す
スリップビートジャンプが解除され、バックグラウンドで再生されていた通常の再生に戻ります。

スリップホットキュー

1 [SLIP] をタッチする
スリップモードに切り換えます。

2 [HOT CUE (A,B,C)] のいずれかにタッチし続ける
ホットキューが開始されます。
[**HOT CUE** (**A,B,C**)] をタッチし続けているあいだもバックグラウンドで通常の再生を続けます。
- スリップホットキューは、ホットキュー開始から 4 拍経過した位置で自動的に解除され、バックグラウンドで再生されていた通常の再生に戻ります。

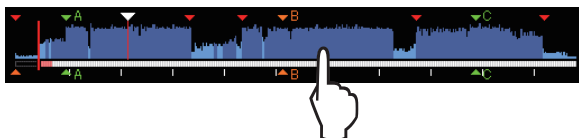
3 [HOT CUE (A,B,C)] から指を放す
ホットキュー開始から 4 拍経過する前に [**HOT CUE** (**A,B,C**)] から指を放すと、バックグラウンドで再生されていた通常の再生に戻ります。

スリップモードを解除する

スリップモード中に [SLIP] をタッチする
スリップモードが解除されます。
- スリップモードは、トラックを新しくロードしたときにも解除されます。

波形部に触れた位置から再生する

波形部に指で触れると、触れた位置の音声を簡単に再生できます。波形部に触れたまま指を移動させると、目的の位置まで素早く移動できます。
波形部をタッチするサーチは以下の状態のときだけ操作できます。
- 一時停止しているとき
- VINYL モード設定時にジョグダイヤルを押しているとき

一時停止中に波形部に触れる

プレーイングアドレス表示の現在の再生位置が、触れた位置の真上に移動します。
- 指を素早く動かすと、プレーイングアドレス表示が正しく表示されないことがあります。

ビートシンクを使う

ビートシンクをオンにすると本機で再生するトラックの BPM と拍位置を PRO DJ LINK 接続されているシンクマスターに設定した DJ プレーヤーに自動的に合わせることができます。
- rekordbox で解析していないトラックではビートシンクは動作しません。

1 シンクマスターにしたい DJ プレーヤーの [BEAT SYNC MASTER] をタッチする
シンクマスターにしたい DJ プレーヤーを決定します。
ビートシンクが機能しているときは、シンクマスターにした DJ プレーヤーの BPM 表示部分がオレンジ色に変化します。
- シンクマスターは rekordbox にすることもできます。
  — rekordbox をシンクマスターにする方法については、rekordbox (Mac/Windows) のユーザーマニュアルをご覧ください。

2 [BEAT SYNC] をタッチする
再生中のトラックの BPM と拍位置がシンクマスターに同期します。
- 同期が行われると、テンポスライダーによるテンポコントロールが無効になり、再生速度表示がテンポスライダーの位置の BPM 表示に変わり灰色で表示されます。

シンクマスターにする DJ プレーヤーを変更する

以下の方法によりシンクマスターを PRO DJ LINK 接続されている他の DJ プレーヤーに変更することができます。
- シンクマスターにしている DJ プレーヤーの曲を変更する、または一時停止する。
- シンクマスターにしている DJ プレーヤーのシンクマスター設定を解除する。
- シンクマスター以外の DJ プレーヤーをシンクマスターに設定する。

同期を解除する

[BEAT SYNC] をタッチする
- 同期中の再生テンポ（BPM）とスライダーの位置のテンポ（BPM）が一致していない時は同期中の再生テンポを維持してテンポスライダーでのテンポコントロールは無効のままになります。テンポスライダーの位置を同期中の再生テンポのところへ移動させると通常の動作に戻ります。

拍位置を調整する（アジャストビートグリッド）

拡大波形表示に拍位置が赤色の線で表示されます。拍位置線 (ビートグリッド) を以下の手順で修正できます。

1 ロータリーセレクターを 1 秒以上押す
[**GRID ADJUST**] モードに切り換わります。

2 ロータリーセレクターを回して、ビートグリッドを調整する

3 [MENU (UTILITY)] をタッチする
メニュー画面から下記の操作が行えます。
- [**reset**]：調整したビートグリッドをリセットします。
- [**snap grid (CUE)**]：現在設定されているキューの場所に 1 拍目を移動します。
- [**SHIFT GRID**]：同期中に調整した結果（ピッチベンドなど）をビートグリッドに反映します。

4 ロータリーセレクターを 1 秒以上押す
[**ZOOM**] モードに戻ります。

他機器と組み合わせて操作する

パイオニア製 DJ ミキサーと LAN ケーブルを使って接続すると、本機の再生を始めるなどの操作を、DJ ミキサーとのフェーダーで制御できます。
- あらかじめ本機とパイオニア製 DJ ミキサーを接続してください。接続のしかたについては、7 ページの「接続する」をご覧ください。
- プレーヤー番号の設定については、7 ページの「LAN ポートが 1 つしかないミキサーに接続する場合」をご覧ください。
- パイオニア製 DJ ミキサーの取扱説明書に掲載されているフェーダースタート機能もあわせてご覧ください。

DJ ミキサーのフェーダーを使って再生を始める (フェーダースタート)

1 本機とパイオニア製 DJ ミキサーを LAN ケーブルを使って接続する

接続方法については、7 ページの「基本スタイル」をご覧ください。

- パイオニア製 DJ ミキサーに LAN 接続端子がないときは、ミニフォーンプラグケーブル (ø 3.5 mm) をコントロール端子に接続してください。

2 DJ ミキサーのフェーダースタート機能をオンにする

3 本機のキューを設定する

4 DJ ミキサーのチャンネルフェーダーまたはクロスフェーダーを動かす

本機の一時停止状態を解除して瞬時にトラックを再生します。

- チャンネルフェーダーまたはクロスフェーダーの位置を元に戻すと、設定していたキューポイントに戻り、頭出しされて一時停止状態になります (バックキュー)。

2 台の DJ プレーヤーをリレー再生する

1 本機と DJ ミキサーを接続する

接続方法については、10 ページの「リレー再生のための接続をする」をご覧ください。

2 DJ ミキサーのクロスフェーダーを中央位置に設定する

3 2 台の DJ プレーヤーのオートキューをオンにする

DJ プレーヤーのオートキューインジケーターが点灯します。
本機の場合は [**A. CUE**] が点灯します。

4 本機の再生を始める

本機が 1 トラック目を再生し終わると、もう 1 台の DJ プレーヤーが自動的に再生を始めます。本機は、次トラックの先頭で頭出しされて、一時停止状態になります。この繰り返しにより自動的に 2 台の DJ プレーヤーでリレー再生できます。

- 2 台の DJ プレーヤーを同じ DJ ミキサーに接続していないときは、リレー再生できないことがあります。
- 再生中の DJ プレーヤーの電源がオフになったときは、もう一方の DJ プレーヤーが再生を始めることがあります。

トラックをブラウズする

各メディアや接続されたコンピューター上の rekordbox のライブラリをブラウズして、トラックをリスト表示することができます。

- rekordbox のライブラリ情報が入っていない USB デバイスをブラウズしたときは、フォルダーとトラック（音楽ファイル）を階層構造でリスト表示します。

ブラウズ画面に切り換える

メディアに対応したタッチキーをタッチする

各ソースの内容がリスト表示されます。

- [**USB**]：接続されている USB デバイス、モバイルデバイスの中身を表示します。
- [**LINK**] にタッチすると、他の DJ プレーヤー内の音楽ファイルを表示します。
- [**rekordbox**] にタッチすると、rekordbox 内の音楽ファイルを表示します。
- ブラウズ画面表示中に [**BROWSE (SEARCH)**] をタッチすると、ブラウズ画面を閉じて通常再生画面に戻ります。
もう一度、[**BROWSE (SEARCH)**] をタッチすると、前回のブラウズ画面を開きます。

❖ 画面の見かた

1	メディアセレクト	押されたメディア（[**USB**]、[**LINK**]、[**rekordbox**]）に対応した表示が点灯します。 トラックがロードされているメディアが点滅します。
2	内容一覧	選んでいるメディアの内容を表示します。
3	ジャケット写真	rekordbox で登録したアートワークの一部を表示します。 [**INFO (LINK INFO)**] をタッチするとジャケット写真が消えて、曲名が左詰めで表示されます。 プレイリスト、演奏履歴リストのときは、連番が表示されます。 rekordbox ライブラリがないときは、常に曲名が左詰めで表示されます。
4	上位階層	表示されている項目の上位フォルダー、またはメディアの名前を表示します。
5	カーソル	ロータリーセレクターを回すと上下に移動します。
6	ユーザー設定カテゴリー	rekordbox で表示するカテゴリーを選ぶことができます。 [**INFO (LINK INFO)**] をタッチするとカーソルで選んでいるトラックの詳細情報を表示します。 rekordbox ライブラリがない場合は、カーソルで選んでいるトラックの詳細情報が表示されます。
7	モードセレクト	タッチされた [**BROWSE (SEARCH)**]、[**TAG LIST**]、[**INFO (LINK INFO)**]、[**MENU (UTILITY)**] に対応した表示が点灯します。

ブラウズ画面での基本操作

❖ 項目を選ぶ

1 ブラウズ画面を表示します

➲「ブラウズ画面に切り換える」(p.24)

2 ロータリーセレクターを回して項目を選ぶ

ロータリーセレクターを 1 秒以上押すと、ジャンプ機能が使えます。

➲「ジャンプ機能を使って探す」(p.25)

3 ロータリーセレクターを押して項目を決定する

下に階層があるときは、その階層を開きます。メニューなどが表示されているときは、選択中の項目を決定します。
トラックにカーソルを当てた状態でロータリーセレクターを押すと、そのトラックを本機にロードします。

❖ 階層を戻る

ブラウザ画面表示中に [BACK] ボタンを押す
階層を 1 つ上に戻します。
- [**BACK**] ボタンを 1 秒以上押す、またはブラウズしているメディアをタッチすると、一番上の階層に移動します。
- USB デバイスまたはコンピューター上およびモバイルデバイス上の rekordbox のライブラリを再生する場合には、最上位階層で [**BACK**] ボタンを押すと以下の情報を見ることができます。
  — USB デバイスに rekordbox のライブラリ情報がない場合：そのメディアの空き容量と使用容量
  — USB デバイスに rekordbox のライブラリ情報がある場合：そのメディアの空き容量と使用容量、ライブラリ情報内のトラック数、プレイリスト数、更新日
  — コンピューター上およびモバイルデバイス上の rekordbox：ライブラリ情報内のトラック数、プレイリスト数

その他のブラウズ操作

トラックを並べ替える (ソートメニュー)

ブラウズしているとき、ソートメニューを使ってトラックを並べ替えられます。
- 本機能は以下のライブラリに対してのみ行うことができます。
  — コンピューター上およびモバイルデバイス上の rekordbox のライブラリをブラウズしているとき
  — USB デバイスの rekordbox ライブラリをブラウズしているとき

1 rekordbox ライブラリを表示させる
➲「他の DJ プレーヤー内の音楽ファイルを再生する」(p.17)
➲「コンピューター上およびモバイルデバイス上の rekordbox のライブラリを再生する」(p.17)

2 トラックがリスト表示されているときに [MENU (UTILITY)] をタッチする
画面にソートメニューが表示されます。

3 ロータリーセレクターを使って、ソートしたい項目を選んで決定する
選んだ項目に従ってリスト上のトラックが並び替わります。
- ソートメニューに表示させる並べ替え項目は、rekordbox の設定で変更できます。USB デバイス上の rekordbox ライブラリは、設定を変更したあとに再度エクスポートすると反映されます。

トラックを探す

- 本機能は以下のライブラリに対してのみ行うことができます。
  — コンピューター上およびモバイルデバイス上の rekordbox のライブラリをブラウズしているとき
  — USB デバイスの rekordbox ライブラリをブラウズしているとき

❖ [SEARCH] カテゴリーを使って探す

ライブラリブラウズしているとき、[**SEARCH**] カテゴリーを使ってトラックを検索できます。

1 rekordbox ライブラリを表示させる
➲「他の DJ プレーヤー内の音楽ファイルを再生する」(p.17)
➲「コンピューター上およびモバイルデバイス上の rekordbox のライブラリを再生する」(p.17)

2 ロータリーセレクターを使って、カテゴリーで [SEARCH] を選んで決定する
本体表示部の下端に文字が表示されます。
- [**BROWSE (SEARCH)**] をタッチし続けても、[**SEARCH**] 画面が起動できます。

3 タッチディスプレイ内のキーボードを使って文字を入力する
入力した文字を含むトラックだけ表示します。
- 続けて文字を入力すると、入力した文字列を含むトラックだけ表示します。
- [**BACK**] ボタンを押すとカテゴリー選択画面に戻ります。

再生中の曲の KEY (調) を使って探す

表示されているカテゴリーが KEY 表示のとき、再生曲の KEY と相性の良い曲の KEY アイコンが緑色に変わります。

ジャンプ機能を使って探す

ジャンプ機能を使って、再生したいトラック、カテゴリー、またはフォルダーに瞬時に移動できます。
ジャンプ機能には、以下 2 つのモードがあります。
- アルファベットジャンプ：アルファベット順に並んでいる、または並べ替えているときに使います。
- ページジャンプ：アルファベット順に並んでいない、または並べ替えていないとき使います。

❖ アルファベットジャンプのとき

1 アルファベット順に並んでいるリストを表示させる
rekordbox のライブラリや USB デバイス内のトラックリストなど、アルファベット順に並んでいるリストを表示させます。

2 ロータリーセレクターを 1 秒以上押す
アルファベットジャンプモードに切り換わります。カーソルで選んでいるトラックまたはカテゴリーの頭文字が拡大表示されます。

3 ロータリーセレクターを回して、文字または記号を選ぶ
選んだ文字または記号で始まるトラック、またはカテゴリーにカーソル位置が移動します。
- 選んだ文字から始まるカテゴリーがリストにない場合はカーソルは移動しません。
  アルファベットジャンプで表示される文字は A ～ Z、0 ～ 9、および一部の記号です。

❖ ページジャンプのとき

1 アルファベット順に並んでいないリストを表示させる
USB デバイス内のフォルダーなど、アルファベット順に並んでいないリストを表示させます。

2 ロータリーセレクターを 1 秒以上押す
ページジャンプモードに切り換わります。

3 ロータリーセレクターを回して、ページを選ぶ
選んだページに移動します。

❖ INFORMATION ジャンプ機能を使う

詳細情報に表示されている項目を選んで、トラックが含まれるカテゴリーを表示できます。この機能はロードしているトラックと同じジャンルや近い BPM 値のトラックを探す場合に便利です。

1 トラックをロードする

2 通常再生画面で [INFO (LINK INFO)] をタッチする
トラックの詳細情報が表示されます。
➲「ロードされているトラックの詳細情報を表示する」(p.28)

3 項目を選んで決定する
ブラウズ画面に切り換わり、選択した項目のカテゴリーを表示します。
- ブラウズ画面を閉じるには、[**BROWSE (SEARCH)**] をタッチします。
- ブラウズ画面に表示するべき項目がないものや、詳細画面にアイコンだけが表示されている項目は選べないことがあります。
- トラックを選んだときは、トラックがロードされる直前に表示していたブラウズ画面を表示します。
- rekordbox ライブラリが入っていない USB デバイスでは、項目はトラックのみ選択できます。

演奏履歴を参照する (HISTORY)

ブラウズ画面でのカテゴリーの [**HISTORY**] には、トラックの演奏履歴が記録および表示されます。

- rekordbox を使って [**HISTORY**] の演奏履歴を元にプレイリストを作成できます。詳しくは、rekordbox (Mac/Windows) の操作説明書をご覧ください。

演奏履歴を記録する

1 USB デバイスを本機にセットする

2 トラックを再生する

約 1 分間プレイしたトラックが演奏履歴リストに記録されます。

- USB デバイスを本機にはじめてセットしたとき、または再セットしたとき、USB デバイス内に新しい演奏履歴リストが自動で作成されます。
- [**UTILITY**] で演奏履歴リストの名前をあらかじめ設定しておくことができます。
  ➲ 「演奏履歴リストの名前を設定する」(p.30)
- 同一のトラックを 2 回以上連続してプレイした場合は、履歴に残らないことがあります。
- 1 つの演奏履歴リストに記憶できる最大トラック数は、999 トラックです。1 000 トラック以上を記憶するときは、新たな履歴を記憶するために一番古い履歴が削除されます。演奏履歴リストは 999 個まで作成できます。
- 演奏履歴リストに登録されたトラックは、曲名等が緑色（再生済み）に変わります。
- カテゴリーの [**PLAYLIST**] 内のトラックは [**MENU (UTILITY)**] から曲名等を緑色（再生済み）に変更することができます。変更を行うと演奏履歴リストにトラックが登録されます。

演奏履歴を削除する

1 USB デバイスを本機にセットする

2 rekordbox ライブラリを表示させる

➲ 「他の DJ プレーヤー内の音楽ファイルを再生する」(p.17)
➲ 「コンピューター上およびモバイルデバイス上の rekordbox のライブラリを再生する」(p.17)

3 ロータリーセレクターを使って、カテゴリーで [HISTORY] を選んで決定する

演奏履歴リストがリスト表示されます。

4 ロータリーセレクターを回して、削除したい演奏履歴リストを選ぶ

5 [MENU (UTILITY)] をタッチする

削除メニューが表示されます。

6 ロータリーセレクターを回して、削除範囲を選んで決定する

- [**DELETE**]：選ばれている演奏履歴リストが削除されます。
- [**ALL DELETE**]：すべての演奏履歴リストが削除されます。
- USB デバイスの演奏履歴リストを rekordbox にプレイリストとして取り込むと、取り込まれた演奏履歴リストは USB デバイスから削除されます。
- カテゴリーの [**PLAYLIST**] 内のトラックは、[**MENU (UTILITY)**] で曲名等を緑色（再生済み）から白色（未再生）に変更することができます。変更を行うと演奏履歴リストからトラックが削除されます。

7 ロータリーセレクターを使って、[OK] を選んで決定する

タグリストを編集する

次に再生するトラックや DJ シーンに合わせて選んだトラックを、マークを付けてあらかじめリストに集めておくことができます。集めたトラックリストを「タグリスト」といいます。タグリストは PRO DJ LINK 接続されている複数の DJ プレーヤーの間で、リアルタイムで相互に参照できるリストです。

- タグリストに追加できるトラック数は、1 メディア当たり 100 トラックです。
- タグリストは、1 つの USB デバイスで 1 つ作成されます。USB デバイスをまたいでトラックをリストに集めることはできません。
- 同一フォルダー内の同一トラックを重複して登録することはできません。

1	内容一覧	タグリストの内容を表示します。
2	メディア名	トラックが記録されているメディアの名前を表示します。
3	ジャケット写真	rekordbox で登録したアートワークの一部を表示します。 [**INFO (LINK INFO)**] をタッチするとジャケット写真が消え連番が表示されます。
4	カーソル	ロータリーセレクターを回すと上下に移動します。
5	ユーザー設定カテゴリー	rekordbox で表示するカテゴリーを選ぶことができます。 [**INFO (LINK INFO)**] をタッチするとカーソルで選んでいるトラックの詳細情報を表示します。

タグリストにトラックを追加する

❖ トラックを選んで追加する

1 ブラウズ画面に切り換えて、トラックをリスト表示する

2 トラックにカーソルを合わせ [TAG TRACK/REMOVE] ボタンを押す

トラックの左側に ✔ が表示され、そのメディアのタグリストにトラックが追加されます。

- rekordbox を使って、あらかじめタグリストにトラックを登録しておくことができます。
  — 詳細な操作方法については、rekordbox (Mac/Windows) のユーザーマニュアルをご覧ください。

❖ ロードしているトラックを追加する

1 トラックをロードする

2 [TAG TRACK/REMOVE] ボタンを押す

本機にロードされているトラックがタグリストに追加されます。

❖ カテゴリーまたはフォルダーごと追加する

選んだカテゴリーまたはフォルダー内のすべてのトラックをタグリストに追加できます。

1 ブラウズ画面に切り換えて、直下にトラックが含まれるカテゴリーまたはフォルダーを選ぶ

情報表示画面の右半分にトラックが一覧表示されている状態になります。

2 カテゴリーまたはフォルダーにカーソルを合わせて、[TAG TRACK/REMOVE] ボタンを押す

カテゴリー名またはフォルダー名が点滅し、カテゴリーまたはフォルダー内のすべてのトラックがタグリストに追加されます。

- フォルダーブラウズしているときにフォルダーを追加すると、ID3 等を一度も読み込んでいないトラックはトラック名がファイル名で登録されます。アーティスト名は登録されません。
- タグリストに追加したあと、登録曲をブラウズ画面のトラックリスト内で表示する、または登録曲をプレーヤーにロードして ID3 等を読み込むとファイル名はトラック名に変わりアーティスト名も登録されます。

❖ プレイリストからトラックを追加する

選んだプレイリスト内のトラックをタグリストに追加できます。

1 ブラウズ画面に切り換えて、カテゴリーの [PLAYLIST] を選んで決定する

プレイリストがリスト表示され、情報表示画面の右半分にトラックが一覧表示されている状態になります。

2 プレイリストにカーソルを合わせて、[TAG TRACK/REMOVE] ボタンを押す

プレイリスト名が点滅し、プレイリスト内のトラックがタグリストに追加されます。

タグリストからトラックをロードする

1 [TAG LIST] をタッチする

タグリストを表示します。

- DJ プレーヤーに複数のメディアがセットされている場合、メディアの名前の前にそのメディアがセットされているプレーヤー番号、rekordbox アイコンが表示されます。

2 ロータリーセレクターを使って、メディアを選んで決定する

メディアを選ぶと、そのメディア内のタグリストが表示されます。

3 ロータリーセレクターを使って、ロードしたいトラックを選んで決定する

トラックがロードされ再生が始まります。

タグリストからトラックを削除する

タグリスト上からトラックを削除することができます。

- タグリストに追加されているトラックを再生しているとき、そのトラックをタグリストから削除すると、トラックの最後まで再生してから停止します。次トラックは再生しません。

❖ 1 トラックずつ削除する

1 [TAG LIST] をタッチする

タグリストを表示します。

2 ロータリーセレクターを使って、メディアを選んで決定する

メディアを選ぶと、そのメディア内のタグリストが表示されます。

3 ロータリーセレクターを使って、削除したいトラックにカーソルを合わせる

4 [TAG TRACK/REMOVE] ボタンを 1 秒以上押す

以下の画面の時に [**TAG TRACK/REMOVE**] ボタンを押すとタグリストからトラックを削除することができます。

- ブラウズ画面で、タグリストに登録されているトラックにカーソルが合っているとき。
- タグリストに登録されているトラックのロード中に、通常再生画面またはトラックの詳細情報画面が表示されているとき。

❖ すべてのトラックを削除する

1 [TAG LIST] をタッチする

タグリストを表示します。

2 ロータリーセレクターを使って、メディアを選んで決定する

メディアを選ぶと、そのメディア内のタグリストが表示されます。

3 [MENU (UTILITY)] をタッチする

[LIST MENU] が表示されます。

4 ロータリーセレクターを使って、[TAGLIST MENU] を選んで決定する

[TAGLIST MENU] が表示されます。

5 ロータリーセレクターを使って、[REMOVE ALL TRACKS] を選んで決定する

6 ロータリーセレクターを使って、[OK] を選んで決定する

タグリストをプレイリストに変換する

タグリストとして集めたトラックをプレイリストに変換することができます。

- 変換したプレイリストはカテゴリーの [**PLAYLIST**] の項目として表示できます。

1 [TAG LIST] をタッチする

タグリストを表示します。

2 ロータリーセレクターを使って、メディアを選んで決定する

メディアを選ぶと、そのメディア内のタグリストが表示されます。

3 [MENU (UTILITY)] をタッチする

[LIST MENU] が表示されます。

4 ロータリーセレクターを使って、[TAGLIST MENU] を選んで決定する

[TAGLIST MENU] が表示されます。

5 ロータリーセレクターを使って、[CREATE PLAYLIST] を選んで決定する

6 ロータリーセレクターを使って、[OK] を選んで決定する

タグリストの内容が [TAG LIST XXX] という名前のプレイリストに変換されます。

- メディア内に rekordbox のライブラリ情報が記録されていないときは、タグリストをプレイリストに変換できません。
- タグリストに rekordbox で管理しているトラックと rekordbox で管理していないトラックの両方を登録している場合、rekordbox で管理されているトラックだけプレイリストに変換されます。

ロードされているトラックの詳細情報を表示する

ロードされているトラックの詳細情報を確認できます。

1	トラック情報詳細	DJ プレーヤーにロードされているトラックの詳細情報を表示します。
2	メディア / プレーヤー番号	トラックの情報が保存されている場所を表示します。
3	ジャケット写真、コメント	DJ プレーヤーにロードされているトラックのジャケット写真およびコメントを表示します。
4	ソース表示	ロードされているトラックの格納元を表示します。

ソース表示 (4) は本機に挿入されたメディアがロードされているときは表示されません。

1 トラックをロードする

2 通常再生画面で [INFO (LINK INFO)] をタッチする

トラックの詳細情報が表示されます。

曲のレーティングを変更する

曲のレーティング (評価) を変更できます。

1 トラックをロードする

2 通常再生画面で [INFO (LINK INFO)] をタッチする

トラックの詳細情報が表示されます。

3 詳細情報に表示されているレーティング (表示例 : ☆☆☆☆☆) を選ぶ

4 ロータリーセレクターを 1 秒以上押してから、ロータリーセレクターを左または右に回す

ロード中の曲のレーティングが変更されます。

5 ロータリーセレクターを押して、レーティングを決定する

他の DJ プレーヤーにロードされているトラックの詳細情報を表示する

他の DJ プレーヤーが PRO DJ LINK 接続されているときは、他の DJ プレーヤーにロードされているトラックの詳細情報を確認できます。

1 本機と DJ プレーヤーを PRO DJ LINK 接続する

2 [INFO (LINK INFO)] を 1 秒以上タッチする

[**LINK INFO**] 画面が表示されます。

3 ロータリーセレクターを使って、トラック情報を見たい DJ プレーヤーを選んで決定する

選んだ DJ プレーヤーにロードされているトラックの詳細情報が表示されます。

設定を変更する

設定内容を USB デバイスに記録する

[UTILITY] の設定内容およびその他の設定内容を USB デバイスに記録できます。
記録した設定内容は、rekordbox へ書き出せます。
rekordbox で本機の設定を行ってから USB デバイスに記録し、その設定値を他のプレーヤーに反映することもできます。

- 記録される設定内容は以下です。
  - — [UTILITY] の設定内容
    PLAY MODE、**LOAD LOCK**、**AUTO CUE LEVEL**、**SLIP FLASHING**、**ON AIR DISPLAY**、**LANGUAGE**、**LCD BRIGHTNESS**
  - — その他の設定内容
    TIME MODE（本体表示部の時間表示方法）、AUTO CUE、JOG MODE、TEMPO RANGE、MASTER TEMPO、QUANTIZE、BEAT SYNC

1 設定内容を記録したい USB デバイスをセットする

2 [USB] にタッチする

設定内容を記録したい USB デバイスが PRO DJ LINK 接続中の他の DJ プレーヤーにセットされているときは、[**LINK**] をタッチして記録メディアを選んでください。

3 [MENU (UTILITY)] をタッチする

4 ロータリーセレクターを使って [MY SETTINGS] の [SAVE] を選んで決定する

設定内容が記録されます。

USB デバイスに記録した設定内容を呼び出す

USB デバイスに記録した、[**UTILITY**] の設定内容およびその他の設定内容を呼び出すことができます。

1 設定内容を呼び出したい USB デバイスをセットする

2 [USB] にタッチする

設定内容を記録した USB デバイスが PRO DJ LINK 接続中の他の DJ プレーヤーにセットされているときは、[**LINK**] をタッチして記録メディアを選んでください。

3 [MENU (UTILITY)] をタッチする

4 ロータリーセレクターを使って [MY SETTINGS] の [LOAD] を選んで決定する

設定内容が呼び出されます。

USB に設定されている色を変更する

USB デバイスを本機にセットしたときに、設定した色で USB インジケーターや画面表示の一部を点灯、点滅させることができます。

- USB デバイスと本機が通信しているときに点灯、点滅します。
- rekordbox からエクスポートされた音楽ファイルや管理データが入っている USB デバイスのみ、[**BACKGROUND COLOR**] が表示されます。

1 USB インジケーターの色を変更したい USB デバイスをセットする

2 [USB] にタッチする

3 [MENU (UTILITY)] をタッチする

4 ロータリーセレクターを使って、[MY SETTINGS] の [BACKGROUND COLOR] を選ぶ

5 ロータリーセレクターを使って設定したい色を選んで決定する

[UTILITY] 画面を表示する

[MENU (UTILITY)] を 1 秒以上タッチする

[**UTILITY**] 画面が表示されます。

画面の見かた

1	設定項目	本機の設定項目が表示されます。
2	項目内容	それぞれの項目の設定値を表示します。

設定を変更する

1 [MENU (UTILITY)] を 1 秒以上タッチする

[**UTILITY**] 画面が表示されます。

2 ロータリーセレクターを回して、設定項目を選ぶ

3 変更したい項目にカーソルを合わせて、ロータリーセレクターを押す

カーソルが設定内容に移動します。

4 ロータリーセレクターを回して、設定内容を変更する

5 ロータリーセレクターを押して、設定内容を決定する

カーソルが設定項目に戻ります。

- 設定内容を決定する前に [**BACK**] ボタンを押すと変更を中止します。

6 [MENU (UTILITY)] をタッチする

[**MENU (UTILITY)**] をタッチする前の画面に戻ります。

設定項目一覧

設定項目	設定範囲	説明
PLAY MODE	**CONTINUE***/**SINGLE**	本機にロードされているトラックの再生方法を変更します。 詳しくは 30 ページの「再生方法を変更する」をご覧ください。
LOAD LOCK	**LOCK**/**UNLOCK***	再生中に新たなトラックのロードを禁止する / しないを設定します。
AUTO CUE LEVEL	**–36 dB**/**–42 dB**/**–48 dB**/**–54 dB**/**–60 dB**/**–66 dB**/**–72 dB**/**–78 dB**/**MEMORY***	詳しくは、21 ページの「オートキューのキューポイントを設定する」をご覧ください。
SLIP FLASHING	**ON***/**OFF**	[**SLIP**] をタッチしたときに、スリップ機能が働くボタン等のインジケーターを点滅させる / させないを設定します。

設定項目	設定範囲	説明
ON AIR DISPLAY	**ON*/OFF**	本体表示部にトラックの ON AIR 状態を表示する / しないを設定します。ON AIR DISPLAY 対応ミキサー (DJM-2000nexus など) と PRO DJ LINK 接続しているときに、ミキサーのチャンネルフェーダーやクロスフェーダーの操作に合わせて ON AIR 状態を表示することができます。ON AIR DISPLAY 対応ミキサーの取扱説明書もあわせてご覧ください。
LANGUAGE	—	本体表示部に表示される言語を選べます。
HISTORY NAME	—	詳しくは、30 ページの「演奏履歴リストの名前を設定する」をご覧ください。
PLAYER No.	**AUTO***、**1** ～ **4**	本機のプレーヤー番号を設定します。本機にメディアがセットされているときは変更できません。
LINK STATUS	—	PRO DJ LINK 接続しているとき接続状態を表示します。
MIDI CHANNEL	**1*** ～ **16**	詳しくは、32 ページの「MIDI チャンネル設定を変更する」をご覧ください。
AUTO STANDBY	**ON*/OFF**	詳しくは、30 ページの「オートスタンバイを設定する」をご覧ください。
LCD BRIGHTNESS	**1** ～ **3*** ～ **5**	本体表示部の明るさを設定します。
TOUCH DISPLAY CALIBRATION	—	詳しくは、30 ページの「タッチディスプレイのずれを修正する」をご覧ください。
SCREEN SAVER	**ON*/OFF**	[**ON**] に設定すると、以下いずれかのとき、スクリーンセーバーが起動します。 • 本機に 5 分以上トラックがロードされないとき • 一時停止、キュー待機状態、または [**END**] が本体表示部に表示されたまま 100 分以上何も操作されないとき
DUPLICATION	**DEFAULT***、**ALL**、**PLAYER1** ～ **4**	詳しくは、31 ページの「PRO DJ LINK 接続中の DJ プレーヤーへ設定内容を複製する」をご覧ください。
VERSION No.	—	本機のソフトウェアバージョンが表示されます。

*：お買い上げ時の設定

再生方法を変更する

1 [UTILITY] 画面を表示させる

➲「[UTILITY] 画面を表示する」(p.29)

2 ロータリーセレクターを使って、[PLAY MODE] を選んで決定する

3 ロータリーセレクターを使って、[CONTINUE] または [SINGLE] を選んで決定する

CONTINUE：すべてのモードで前の曲や次の曲に移動できます。
SINGLE：本体表示部の [**TRACK**] の文字が [**SINGLE**] に変わり、トラックサーチボタン、サーチボタン以外では前の曲や次の曲へ移動できなくなります。

オートスタンバイを設定する

1 [UTILITY] 画面を表示させる

➲「[UTILITY] 画面を表示する」(p.29)

2 ロータリーセレクターを使って、[AUTO STANDBY] を選んで決定する

3 ロータリーセレクターを使って、[ON] または [OFF] を選んで決定する

[**AUTO STANDBY**] を [**ON**] に設定すると、以下のときにオートスタンバイ機能が働きスタンバイ状態になります。

- USB デバイスがセットされていない、かつ PRO DJ LINK 接続していない、かつ **USB** 端子 (本体背面部) にコンピューターが接続されていない状態で、4 時間以上まったく何も操作されないとき
- 本機を操作するとスタンバイ状態が解除されます。
- 本機は、オートスタンバイ機能をオンに設定して出荷しています。オートスタンバイ機能をお使いにならないときは、[**AUTO STANDBY**] を [**OFF**] に設定してください。

演奏履歴リストの名前を設定する

USB デバイスに記録される演奏履歴リストの名前をあらかじめ設定できます。

1 [UTILITY] 画面を表示させる

➲「[UTILITY] 画面を表示する」(p.29)

2 ロータリーセレクターを使って、[HISTORY NAME] を選んで決定する

3 タッチディスプレイに表示されるキーボードを使って文字を入力する

4 ロータリーセレクターを押して決定する

入力した名前に変更されます。

- 演奏履歴リストの名前を変更すると、演奏履歴リストの名前の後ろの数字が 001 に戻ります。この数字は演奏履歴リストが作成される度に順番に追加されます。
- [**HISTORY**] の名前に設定できる文字数は、半角英数と記号を合わせて 32 文字です。

言語を変更する

トラック名などの表示、画面上メッセージ表示に使われる言語を選択します。

- 言語を切り換えると、本体表示部に表示されるメッセージが選択した言語で表示されます。
- トラック名などを表示する際、Unicode 以外のローカルコードで書かれている文字を表示したいときは、[**LANGUAGE**] 設定を変更してください。

1 [UTILITY] 画面を表示させる

➲「[UTILITY] 画面を表示する」(p.29)

2 ロータリーセレクターを使って、[LANGUAGE] を選んで決定する

3 ロータリーセレクターを使って、言語を選んで決定する

画面表示言語が変更されます。

タッチディスプレイのずれを修正する

1 [UTILITY] 画面を表示させる

➲「[UTILITY] 画面を表示する」(p.29)

2 ロータリーセレクターを使って、[TOUCH DISPLAY CALIBRATION] を選んで決定する

3 画面に表示される [+] を順番にタッチする

全部で 16 か所タッチします。

4 ロータリーセレクターを押して決定する

設定の変更内容が保存されます。

- 本機は、キャリブレーションしてから出荷していますが、正しくタッチできないときは、キャリブレーションを設定してください。
- キャリブレーションを設定するときは、ボールペンのような先のとがった物は使用しないでください。

PRO DJ LINK 接続中の DJ プレーヤーへ設定内容を複製する

[UTILITY] の設定内容およびその他の設定内容を、PRO DJ LINK で接続している他の DJ プレーヤーに複製できます。
- 複製される設定内容は以下です。
  — [UTILITY] の設定内容
  PLAY MODE、**LOAD LOCK**、**AUTO CUE LEVEL**、**SLIP FLASHING**、**ON AIR DISPLAY**、**LANGUAGE**、**LCD BRIGHTNESS**
  — その他の設定内容
  TIME MODE (本体表示部の時間表示方法)、AUTO CUE、JOG MODE、TEMPO RANGE、MASTER TEMPO、QUANTIZE、BEAT SYNC

1 [**DUPLICATION**] を選んで決定する

2 設定を反映させたい DJ プレーヤーの再生を止める

3 ロータリーセレクターを使って、[PLAYER X] または [ALL] を選んで決定する

[**PLAYER1**]–[**PLAYER4**]：指定した DJ プレーヤーに設定を複製します。再生中の DJ プレーヤーは選べません。
[**ALL**]：PRO DJ LINK 接続中のすべての DJ プレーヤーに設定を複製します。再生中の DJ プレーヤーには設定を複製できません。
指定したプレーヤーの表示部に [DUPLICATED] と表示され、本機の [UTILITY] の設定内容およびその他の設定内容が指定したプレーヤーに複製されます。
[**DEFAULT**]：本機の設定をお買い上げ時の設定に戻します。

ドライバーソフトウェアをインストールする

ドライバーソフトウェアについて (Windows)

本ドライバーソフトウェアは、コンピューターからの音声を出力するための専用 ASIO ドライバーです。
- Mac OS X をお使いのときは、ドライバーソフトウェアをインストールする必要はありません。

❖ ドライバーソフトウェアを入手する

1 コンピューターでウェブブラウザーを起動し、下記の Pioneer DJ サポートサイトにアクセスする

http://pioneerdj.com/support/

2 Pioneer DJ サポートサイトで [**XDJ-1000**] の [ソフトウェアダウンロード] をクリックする

3 ドライバーソフトウェアのアイコンをクリックし、ダウンロードページからドライバーソフトウェアをダウンロードする

- ドライバーソフトウェアのインストールについては、Pioneer DJ サポートサイトをご覧ください。

本機とコンピューターを USB 接続する

1 本機とコンピューターを USB ケーブルで接続する

接続方法については、10 ページの「他社製 DJ ソフトウェアを使う」をご覧ください。

2 [⏻] スイッチを押す

本機の電源をオンにします。
- 本機をはじめてコンピューターに接続したとき、またはコンピューターの USB 端子をつなぎ変えたときに [**デバイスドライバソフトウェアをインストールしています。**] メッセージが表示されることがあります。[**デバイスを使用する準備ができました。**] メッセージが表示されるまで、そのままお待ちください。

バッファサイズを調整する (Windows)

本機は ASIO 規格に準拠したオーディオデバイスとしての機能を備えています。
- 本機を既定のオーディオデバイスとして使っているアプリケーション (DJ ソフトウェアなど) が起動しているときは、そのアプリケーションを終了させてからバッファサイズを調整してください。

Windows の [スタート] メニュー > [すべてのプログラム] > [Pioneer] > [**CDJXDJ**] > [CDJXDJ ASIO 設定ユーティリティ] をクリックする

- バッファサイズを大きくすると、音声データの脱落 (音とぎれ) などが生じにくくなりますが、音声データの伝送遅延 (レイテンシー) によるタイムラグが増大します。
- ビット数は ASIO 再生時のビット深度を指定します。
- バッファサイズおよびカーネルバッファの調整は、以下の手順を参考に操作してください。

❖ 初期設定状態で音とぎれが発生していないとき

1 バッファサイズを徐々に小さくして、音とぎれが発生しない最小のバッファサイズに設定する

2 カーネルバッファ数を [**2**] に設定して、音とぎれが発生するか確認する

- 音とぎれが発生するときはカーネルバッファ数を [**3**] に設定してください。

❖ 初期設定状態で音とぎれが発生しているとき

カーネルバッファ数を [**4**] に設定にしたあと、音とぎれが発生しない最小のバッファサイズに設定する

ドライバーソフトウェアのバージョンを確認する

- この画面では、本機のファームウェアのバージョンも確認できます。

Windows の [スタート] メニュー > [すべてのプログラム] > [Pioneer] > [**CDJXDJ**] > [CDJXDJ バージョン表示ユーティリティ] をクリックする

- 本機がコンピューターに接続されていないとき、または本機とコンピューターが正常に通信できていないときは、ファームウェアのバージョンは表示されません。

他社製 DJ ソフトウェアを使う

MIDI を使って DJ ソフトウェアを操作する

本機は、ボタンやツマミなどの操作情報を汎用の MIDI 形式でも出力します。MIDI 対応の DJ ソフトウェアをインストールしたコンピューターと USB ケーブルを使って接続すると、本機で DJ ソフトウェアを操作できます。また、コンピューターで再生している音楽ファイルの音声を本機から出力できます。
本機をオーディオデバイスとして使うときは、あらかじめコンピューターにドライバーソフトウェアをインストールしてください (31 ページ)。また、DJ ソフトウェアのオーディオ出力デバイスの設定で本機を選んでおく必要があります。詳しくは、お使いの DJ ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

1 本機の USB 端子とコンピューターを接続する

接続方法については、10 ページの「他社製 DJ ソフトウェアを使う」をご覧ください。

2 [BROWSE (SEARCH)] をタッチしてから [LINK] をタッチする

メニュー画面に [**CONTROL MODE**] と [**USB MIDI**] が表示されます。

3 [CONTROL MODE] を選んで決定する

接続中画面が表示されます。

4 [USB MIDI] を選んで決定する

本機がコントロールモードに切り換わります。

5 DJ ソフトウェアを起動する

DJ ソフトウェアと通信が始まります。

- 本機のボタンおよびロータリーセレクターなどを使ってコンピューターの DJ ソフトウェアを操作できます。
- ボタンによっては DJ ソフトウェアの操作に使えないことがあります。
- 本機にトラックがロードされるとコントロールモードが解除されます。
- 本機が出力するメッセージについては 32 ページの「MIDI メッセージ一覧」をご覧ください。

MIDI チャンネル設定を変更する

1 [MENU (UTILITY)] を 1 秒以上タッチする

[**UTILITY**] 画面が表示されます。

2 [MIDI CHANNEL] を選んで決定する

3 ロータリーセレクターを回す

MIDI チャンネルを選んで設定を変更します。1 ～ 16 の設定を選べます。

4 ロータリーセレクターを押して決定する

5 [MENU (UTILITY)] をタッチする

元の画面に戻ります。

MIDI メッセージ一覧

SW 名	SW の種類	MIDI メッセージ			備考
		MSB			
JOG (TOUCH)	–	Bn	10	dd	停止から４倍速の速度に対するリニア値で、停止で 64、FWD 方向:65 (0.06 倍速) ～ 127 (4 倍速)・REV 方向:63 (0.06 倍速) ～ 0 (4 倍速)。
TEMPO SLIDER	VR	Bn	1D	dd	0 ～ 127 －側で 0、＋側で 127
TOUCH/ RELEASE	VR	Bn	1E	dd	0 ～ 127 左側 (min) で 0、右側 (max) で 127
JOG RING	–	Bn	30	dd	0.5 倍速から４倍速の速度に対するリニア値で、停止 (0.49 倍速以下) で 64、FWD 方向 : 65 (0.5 倍速) ～ 127 (4 倍速)・REV 方向 : 63 (0.5 倍速) ～ 0 (4 倍速)。
ENCODER	General Purpose Controller	Bn	4F	dd	98 ～ 127、1 ～ 30 前回からの差分のカウント値を転送 (± 1 ～± 30) ± 30 以上のときは± 30 とする
PLAY/ PAUSE	SW	9n	00	dd	OFF=0, ON=127
CUE	SW	9n	01	dd	OFF=0, ON=127
SEARCH FWD	SW	9n	02	dd	OFF=0, ON=127
SEARCH REV	SW	9n	03	dd	OFF=0, ON=127
TRACK SEARCH NEXT	SW	9n	04	dd	OFF=0, ON=127
TRACK SEARCH REV	SW	9n	05	dd	OFF=0, ON=127
LOOP IN	SW	9n	06	dd	OFF=0, ON=127
LOOP OUT	SW	9n	07	dd	OFF=0, ON=127
RELOOP	SW	9n	08	dd	OFF=0, ON=127
QUANTIZE	GUI button	9n	09	dd	OFF=0, ON=127
MEMORY	GUI button	9n	0A	dd	OFF=0, ON=127
CALL NEXT	GUI button	9n	0B	dd	OFF=0, ON=127
CALL PREV	GUI button	9n	0C	dd	OFF=0, ON=127
DELETE	GUI button	9n	0D	dd	OFF=0, ON=127
TIME/ A.CUE	GUI button	9n	0E	dd	OFF=0, ON=127
TEMPO RANGE	SW	9n	10	dd	OFF=0, ON=127
MASTER TEMPO	SW	9n	11	dd	OFF=0, ON=127
JOG MODE	SW	9n	12	dd	OFF=0, ON=127
HOT CUE A	GUI button	9n	18	dd	OFF=0, ON=127
HOT CUE B	GUI button	9n	19	dd	OFF=0, ON=127
HOT CUE C	GUI button	9n	1A	dd	OFF=0, ON=127
HOT CUE REC	GUI button	9n	1C	dd	OFF=0, ON=127
HOT CUE CALL	GUI button	9n	1D	dd	OFF=0, ON=127
MASTER	GUI button	9n	1E	dd	OFF=0, ON=127

SW 名	SW の種類	MIDI メッセージ MSB			備考
SYNC	GUI button	9n	1F	dd	OFF=0, ON=127
JOG TOUCH	SW	9n	20	dd	OFF=0, ON=127
REVERSE	SW	9n	21	dd	OFF=0, ON=127
BEAT LOOP 1/2	GUI button	9n	27	dd	OFF=0, ON=127
BEAT LOOP 1	GUI button	9n	28	dd	OFF=0, ON=127
BEAT LOOP 2	GUI button	9n	29	dd	OFF=0, ON=127
BEAT LOOP 4	GUI button	9n	2A	dd	OFF=0, ON=127
BEAT LOOP 8	GUI button	9n	2B	dd	OFF=0, ON=127
BEAT LOOP 16	GUI button	9n	2C	dd	OFF=0, ON=127
SLIP	GUI button	9n	2D	dd	OFF=0, ON=127
TAG TRACK	SW	9n	30	dd	OFF=0, ON=127
BACK	SW	9n	32	dd	OFF=0, ON=127
ENCODER PUSH	SW	9n	33	dd	OFF=0, ON=127
JUMP/ SHIFT 1 FWD	GUI button	9n	38	dd	OFF=0, ON=127
JUMP/ SHIFT 2 FWD	GUI button	9n	39	dd	OFF=0, ON=127
JUMP/ SHIFT 4 FWD	GUI button	9n	3A	dd	OFF=0, ON=127
JUMP/ SHIFT 1 REV	GUI button	9n	3B	dd	OFF=0, ON=127
JUMP/ SHIFT 2 REV	GUI button	9n	3C	dd	OFF=0, ON=127
JUMP/ SHIFT 4 REV	GUI button	9n	3D	dd	OFF=0, ON=127
NEEDLE	GUI	Bn	1C	dd	OFF=0 1 → 127 で左側→右側ポジション位置データ

n はチャンネル番号です。

その他

故障かな？と思ったら

- 故障かな？と思ったら、下記の項目および Pioneer DJ サポートサイトへアクセスして、[**XDJ-1000**] の [**よくある質問**] を確認してください。
  http://pioneerdj.com/support/
  また、本機と接続している機器もあわせて確認してください。それでも正常に動作しないときは、36 ページの「保証とアフターサービス」をお読みのうえ、販売店にお問い合わせください。
- 静電気など、外部からの影響により本機が正常に動作しないことがあります。このようなときは、電源をオフにしてから 1 分後に再度電源をオンにすることで正常に動作することがあります。

こんなときは	ここを確認してください	対応の仕方
ファイルを再生できない。	ファイルが著作権保護 (DRM) されていませんか？	著作権保護されているファイルは再生できません。
音が出ない、歪む、またはノイズが出る。	接続している DJ ミキサーが正しく操作されていますか？	DJ ミキサーの操作を確認してください。
	本機とテレビを近くに設置していませんか？	テレビの電源をオフにしてください。または本機とテレビを離して設置してください。
ファイルの情報が正しく表示されない。	[**LANGUAGE**] が適切に設定されていますか？	[**LANGUAGE**] を適切な言語に設定してください。
	本機が対応していない言語で情報が記述されていませんか？	DJ ソフトウェアなどを使ってファイルを作成するときは、本機が対応している言語で情報を記述してください。
トラックサーチが終わらない。	オートキュー機能が働いていませんか？	曲間の無音部分が長いときは、トラックサーチに時間がかかることがあります。
	ー	10 秒以内にトラックサーチできないときは、トラックの先頭がキューポイントに設定されます。
バックキュー機能が働かない。	キューポイントが設定されていますか？	キューポイントを設定してください (19 ページ)。
ループプレイ機能が働かない。	ループポイントが設定されていますか？	ループポイントを設定してください (19 ページ)。
設定が記憶されない。	設定を変更したあと、すぐに電源をオフにしていませんか？	設定を変更したあとは、10 秒以上経過してから電源をオフにしてください。
USB デバイスを認識しない。	USB デバイスが正しく接続されていますか？	奥までしっかり差し込んでください。
	USB ハブを経由して接続していませんか？	USB ハブは使えません。
	本機が対応している USB デバイスですか？	USB マスストレージクラスの機器にだけ対応しています。
		携帯フラッシュメモリー、またはデジタルオーディオ再生機器に対応しています。
	ファイルフォーマットが本機に対応していますか？	接続している USB デバイスのファイルフォーマットを確認してください。本機が対応しているファイルフォーマットについては、5 ページの「使用できるメディア」をご覧ください。
	ー	電源をオンし直してください。
USB デバイスにキューポイントまたはループが記憶されない。	制限数以上のポイントを記録しようとしていませんか？	USB デバイスに記録できるキューポイントまたはループポイントは、1 トラックあたり 10 か所です。 制限数以上のポイントを記録しようとすると [**CUE/LOOPPOINT FULL**] が表示され記録できません。この場合は、いくつかのポイントを削除してから、記憶させてください。
	USB デバイスが書き込み禁止になっていませんか？	USB デバイスが書き込み禁止に設定されているときは、[**USB FULL**] と表示され記録できません。書き込み禁止の設定を解除してから、再度記憶させてください。
	USB デバイスに十分な空き容量がありますか？	USB デバイスの空き容量が足りないときは、[**USB FULL**] と表示され記録できません。空き容量を確保してから、再度記憶させてください。
USB デバイスに記録されている曲のキューポイントまたはループが表示されない。	前回 USB デバイスを取り外すときに、正しく停止処理を行いましたか？	停止処理を行わずに取り外したり本機の電源をオフにしたりすると、表示されないことがあります。 USB デバイスを取り外したり、本機の電源をオフにする前に、USB インジケーターが完全に消灯していることを確認してください。
リループ実行時にボタンを押したり、逆再生実行時にボタンを押しても、瞬時に開始されない。	クオンタイズ機能がオンになっていませんか？	クオンタイズ機能がオンになっていると、ボタンを押したときに最も近い拍位置から開始されます。ボタンを押した瞬間に動作させたい場合は、クオンタイズ機能をオフにしてください。
プレーイングアドレス表示が残り時間表示で表示されない。	ー	VBR で記録されているファイルを再生しているときは、曲の長さがすぐにわからないことがあるためプレーイングアドレス表示が表示されるまでに時間がかかることがあります。
USB デバイス (フラッシュメモリーまたはハードディスク) の読み込みに時間がかかる。	USB デバイスに大量のフォルダーまたはファイルを記録していませんか？	フォルダーやファイルの数が多いときは、読み込みに時間がかかることがあります。
	USB デバイスに音楽ファイル以外のファイルを保存していませんか？	音楽ファイル以外のファイルがフォルダー内にあるときも読み込みに時間がかかるので、音楽ファイル以外のファイル、フォルダーは入れないようにしてください。
ライブラリーブラウズできない。	ライブラリー情報が記録されているメディアをセットしていますか？	ライブラリー情報が記録されているメディアをセットしているときだけライブラリーブラウズで表示できます。ライブラリー情報が記録されていないメディアをセットしたときはフォルダーブラウズで表示します。
[**HISTORY**] が表示されない。	USB デバイスをセットしていますか？	[**HISTORY**] は、USB デバイスをセットしている DJ プレーヤーでお使いいただける機能です。

こんなときは	ここを確認してください	対応の仕方
何も表示されない。	オートスタンバイ機能が働いていませんか？	本機は、オートスタンバイ機能をオンに設定して出荷しています。オートスタンバイ機能をお使いにならないときは、[**UTILITY**] 内の [**AUTO STANDBY**] を [**OFF**] に設定してください。（30 ページ）
目盛表示がされない。	曲の長さが 15 分以上ありませんか？	再生時間が 15 分以上ある曲の場合は目盛表示は行われません。（14 ページ）
PRO DJ LINK がうまく動かない。	プレーヤー番号が正しく設定されていますか？	[**PLAYER No.**] を [**AUTO**] または現在の設定とは異なる番号に変更してください。（29 ページ）
	LAN ケーブルが正しく接続されていますか？	LAN ケーブルを [**LINK**] 端子に正しく接続してください。
	スイッチングハブの電源がオンになっていますか？	スイッチングハブの電源をオンにしてください。
	スイッチングハブに不要な機器が接続されていませんか？	スイッチングハブから不要な機器を取り外してください。
画面をタッチしても反応しない、または反応が悪い。実際にタッチした場所と違う位置が反応する。	タッチディスプレイのキャリブレーション調整がずれている。	[**UTILITY**] 画面の [**TOUCH DISPLAY CALIBRATION**] 設定でタッチディスプレイを調整してください。 また、電源がオフのときに [**OUT**(**OUT ADJUST**)] ボタンを押しながら電源をオンすると [**TOUCH DISPLAY CALIBRATION**] の設定画面を表示できます。

液晶画面について

- 液晶画面の中に小さな黒い点や明るく光る点 (輝点) が現れることがあります。これは液晶特有の現象で故障ではありません。
- 寒い場所でお使いになるときは、本機の電源をオンにしたあとしばらく液晶画面が暗いことがあります。時間がたつと正常な明るさに戻ります。
- 液晶画面に直射日光が当たると、光が反射し映像が見づらくなりますので、直射日光をさえぎってください。

エラー表示

本機が正常に動作できないときは表示部にエラーコードを表示します。以下の表で確認して処置してください。以下の表にないエラーコードが表示されるときや、処置しても同じエラーコードが表示されるときは、お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。

エラーコード	エラータイプ	エラー内容	原因と処置
E-8302	**CANNOT PLAY TRACK(****)**	USB 内のトラックデータ (ファイル) が正常に読み取れない。	トラックデータ (ファイル) が破損している可能性があります。➞ 本機と同じフォーマットを再生できる別のプレーヤーなどで、トラック (ファイル) が再生できるか確認してください。
E-8304 E-8305	**UNSUPPORTED FILE FORMAT**	正常に演奏できない音楽ファイルをロードしている。	フォーマットに従っていない。➞ フォーマットに従った音楽ファイルに交換してください。

タッチディスプレイのクリーニングについて

タッチディスプレイの表面をクリーニングするときは、有機溶剤・酸・アルカリ類は使用しないでください。乾いた柔らかい布、中性洗剤に浸してよく絞った布で拭いてください。

本体表示部表示アイコン一覧

	ジャンル		プレーヤー番号 (1 ～ 4)		コンピューター		フォルダー閉		WAIT
	アーティスト		レーティング編集		年		リミキサー		rekordbox
	アルバム		タグリスト登録済み		レーベル会社		オリジナルアーティスト		ミキサー
	トラック / ファイル名	BPM	テンポ (BPM)		キー		サーチ		ホットキュー
	プレイリスト HISTORY ホットキューバンクリスト		カラー	bps	ビットレート		DJ プレイカウント		
	レーティング		USB		再生中		ライブラリ追加日		
	時間		SD		フォルダー開		コメント		

iPod/iPhone について

- 本製品は、Pioneer DJ サポートサイトに記載されている iPod/iPhone のソフトウェアバージョンに基づいて開発、テストされたものです。(http://pioneerdj.com/support/)
- Pioneer DJ サポートサイトに記載されているバージョン以外のソフトウェアをお客様の iPod/iPhone にインストールした場合、本製品との互換がなくなる場合があります。
- iPod/iPhone の動作に関しては保障いたしかねますのでご了承ください。
- 使用時に iPod/iPhone のデータ等が消失した場合でも、その保証については責任を負いかねますのでご了承ください。
- iPod/iPhone は、著作権のないマテリアル、または法的に複製・再生を許諾されたマテリアルを、個人が私的に複製・再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。

保証とアフターサービス

修理に関するご質問、ご相談

「取扱説明書 (クイックスタートガイド)」の裏表紙に記載の修理受付窓口、またはお買い求めの販売店にご相談ください。

保証書 (別添)

保証書は必ず「販売店名･購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取り、内容をよく読んで大切に保管してください。
保証書に販売店名や購入日の記載がない場合は、本製品のご購入の際に受け取られた、購入日が明記されている購入証明書 (レシート、納品書、受注メールなど) が必要となります。保証書とともに大切に保管してください。

保証期間は購入日から 1 年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、8 年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

本書の 34 ページの「故障かな？と思ったら」をお読みいただき、故障かどうかをご確認ください。それでも正常に動作しないときは、必ず電源プラグを抜いてから、次の要領で修理を依頼してください。

連絡していただきたい内容

- ご住所
- お名前
- お電話番号
- 製品名：マルチプレーヤー
- 型番：XDJ-1000
- お買い上げ日
- 故障または異常の内容
  「いつ、どのくらいの頻度で、どのような操作で、どうなる」といった詳細

保証期間中は

修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書に記載されている弊社保証規定に基づき修理いたします。

保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

商標、ライセンス等

- Pioneer、rekordbox および KUVO は、パイオニア株式会社の登録商標または商標です。
- Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Adobe および Reader は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の米国ならびに他の国における登録商標または商標です。
- ASIO は Steinberg Media Technologies GmbH の商標です。
- 「Made for iPod」および「Made for iPhone」とは、それぞれ iPod あるいは iPhone 専用に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定された電子アクセサリであることを示します。アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。このアクセサリを iPod あるいは iPhone と使用することにより、無線の性能に影響を及ぼす可能性がありますのでご注意ください。

- iPhone、iPod、iPod touch、Mac、および Mac OS は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- iPhone の商標は、アイホン株式会社のライセンスにもとづき使用されています。
- Android™ は Google Inc. の商標です。
- iOS は、US その他の国でシスコが商標権を有する商標です。
- This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.
  本機搭載のソフトウェアは、Independent JPEG Group のソフトウェアを一部利用しております。

MP3 の利用について
本製品は非営利的使用のためのみにライセンスされております。営利的目的での (収益の発生するような) 、実際の放送 (地上波放送･衛星放送･有線放送･あるいは他のメディアを利用した放送) 、インターネットやイントラネット (企業内ネット) あるいは他のネットワークを利用した放送･ストリーミング、またその他の電子的情報を提供するシステム (音楽の有料配信など) のためにはライセンスされておりません。このような使用には個別にライセンスを取得する必要があります。詳しくは、http://www.mp3licensing.com をご参照ください。

その他記載されている会社名および製品名等は、各社の登録商標または商標です。

- 音楽管理ソフトウェア rekordbox は、保証書に記録されている無料修理等の対象ではありません。rekordbox をご利用するにあたっては、rekordbox の「ソフトウェア使用許諾契約書」の条項をよくお読みください。
- 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
-
  <DRJ1027-A>